

令和5年度事業計画

〔芸術文化センターの管理・運営（概要）〕

1 芸術文化センター事業

令和5年度の主催事業数は133事業202公演を予定している。

コロナ禍の影響が最も深刻であった令和2年度実績（80事業130公演）から大幅に回復するとともに、コロナ禍以前の令和元年度実績（133事業242公演）に迫る公演数となっている。

（1）佐渡芸術監督プロデュースオペラ 歌劇「ドン・ジョヴァンニ」

令和5年7月14日から23日の日程で、兵庫発プロデュースオペラ18作目となるモーツァルト歌劇「ドン・ジョヴァンニ」を8公演上演する。

また、関連イベントとして、ハイライトコンサートを洲本市、稲美町、三田市、丹波篠山市、市川町、小野市の県内6会場で6公演、芸術文化センターで2公演、ワンコイン・プレ・レクチャーを4公演実施し、総合舞台芸術であるオペラの魅力の普及啓発の展開に努める。

（2）公演入場者数

公演入場者は、2005年10月の開館以来、年間約50万人で推移していたところ、コロナ禍により令和2年度は120,414人まで減少したが、令和4年度は413,105人（R4.4～R5.1）まで回復し、同年12月には累計800万人を達成した。

（3）新たな企画・舞台芸術の普及

令和4年度に新たに実施した知的・発達障がい児（者）向けの社会包摂プログラムを令和5年度も開催するなど、より多くの方々への舞台芸術の鑑賞機会の提供、普及促進・定着を図る。

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

令和3年度よりコロナ禍以前と同様の公演数で再開した楽団定期演奏会は、令和5年度も合計9事業27公演の実施を予定している。

青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の参加者数は、令和2年度の約10,000人から令和4年度は約45,000人とコロナ禍以前まで回復し、令和5年度も同等の参加者数を見込んでいる。

小編成のオーケストラメンバーが小学校や特別支援学校へ出向くアウトリーチ事業は、令和4年度に但馬地域の重点取組を実施したが、令和5年度は淡路地域の小学校での実施を予定している。

3 施設の管理運営事業

新型コロナウイルス感染症対策としては、引き続き、国・県の動向を注視するとともに、センター独自の取組である感染症対策アドバイザーの助言等に基づく感染防止対策を講ずることで安全・安心なセンター運営を行う。

貸館公演数は、令和2年度の159公演から令和4年度の307公演（R4.4～R5.1）まで回復し、コロナ禍以前の令和元年度の326公演も超える見込みである。令和5年度についても引き続き、舞台芸術の鑑賞、創作、発表など多彩な文化創造活動の拠点をめざす。

また、ふるさとひょうご寄附金を原資として、館内のコインロッカーを増設、車いすの更新・増設を行い、誰もが快適に舞台芸術を楽しんでいただける施設づくりに取り組む。

4 人材育成

芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習生の受入れ（R4～）やトライやるウィークの受入れ等を引き続き実施し、アートマネジメントの将来を担う人材育成を図る。

また、令和4年11月に開催し延べ約5,500名の来場があったひょうごプレミアム芸術デーについては、令和5年度は実施日を子どもたちの夏休み期間である8月3日に変更し、将来の舞台芸術ファンの更なる開拓を目指す。

〔芸術文化センターの管理・運営（詳細）〕

阪神・淡路大震災からの「心の復興、文化の復興」のシンボルとして、開館（H17年10月）以来17年間^①県民（ファン）の熱い支持を得ながら^②新たな試みに挑戦・成長し続け、^③継続して好調さを維持しながら、開館15周年を迎えることができ、^④震災からの文化の復興の拠点となる本格的な舞台芸術専門劇場として創造的復興の具体的姿を発信してきた。

令和5年度においても、^①県民の幅広い期待に応えるため、これまでの実績を踏まえた多彩で豊富なメニューを提供し、^②人々が元気で輝き続ける劇場（みんなの広場）であり続けるとともに、^③街のにぎわいを創出することにより、県民生活の質的向上・地域創生の一翼を担っていく。

これからも^①安全・安心・快適のための基盤整備（ハード）をはじめ、^②長期的な県収支フレーム（予算）をベースに継続的な充実財源の確保、^③選べる“楽しさ”の展開（ソフト）による「にぎわい」の安定・継続、^④優れた人材の確保による運営体制の継続を通じて、開館20周年、さらにその先においても活気ある劇場を実現する。

事業展開の基本コンセプト

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで、『幅広いニーズ』に応える上演
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

新型コロナウイルス感染症への対応

- ① 「新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を策定し、感染症対策の徹底
- ② 「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー」として委嘱した専門家による感染症対策の監修

1 芸術文化センター事業

（1）佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全8回ロングラン公演を展開。幅広いオペラファンの獲得・定着をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」 （新制作17作目） （全2幕／イタリア語上演・ 日本語字幕付き／新制作） （公財）花王芸術・科学財団助成 （公財）三菱UFJ信託芸術文化財団助成 （申請中）	5. 7. 14 ～7. 23 （8公演）	音楽：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 台本：ロレンツォ・ダ・ポンテ 指揮：佐渡 裕 演出：デヴィッド・ニース 装置・衣裳デザイン：ロバート・パージオラ 照明：高沢立生、かつら：アン・ネスミス 演出助手：飯塚励生 装置助手：ニコラス・コスナー 衣裳助手：小栗菜代子 出 演：（ダブルキャスト） ジョシュア・ホプキンズ、大西宇宙／ルカ・ピサローニ、平野和／デヴィッド・リー、妻屋秀和／ミシェル・ブラッドリー、高野百合絵／デヴィッド・ポルティエヨ、城宏憲／ハイディ・ストーバー、池田香織／近藤圭、森雅史／アレクサンドラ・オルチク、小林沙羅 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団

		〔関連公演〕 3事業 12公演 ＊「ドン・ジョヴァンニ」ハイライトコンサート～ええとこどり！ 県内6会場(洲本市 4/23、稲美町 4/29、三田市 5/3、丹波篠山市 5/6、市川町 5/7、小野市 5/14)と芸文センター(4/19～20)で実施 ＊ワンコイン・プレ・レクチャー(同日2回) 5/25(講師：根本卓也) 6/16(講師：井内美香) ＊前夜祭 7/13(高松公園)主催：西北活性化協議会
ジルヴェスター・ガラ・コンサート2023	5. 12. 31 (1公演)	管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計		5事業 21公演

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

(2) 他館との連携による自主制作オペラ事業(阪急 中ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
日本オペラ・プロジェクト 2024 名作2本立て「赤い陣羽織」「卒塔婆小町」 (新制作／日本語上演・日本語字幕)	6. 2. 10 ～11 (2公演)	①「卒塔婆小町」 音楽：石桁真礼生 作：三島由紀夫 ②「赤い陣羽織」 音楽：大栗 裕 作：木下順二 指揮：牧村邦彦 演出：茂山千三郎(大蔵流狂言師) 出演：並河寿美、片桐直樹、ほか(調整中) 管弦楽：ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 制作：堺シティオペラ(一社) 兵庫県立芸術文化センター
合 計		1事業 2公演

(3) 独自の自主企画・プロデュースによる公演／兵庫県ゆかりの古典芸能(阪急 中ホール)

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により新たなファンも発掘

演 目		公演年月日	出演者等
	兵庫県立芸術文化センター×いいむろなおき	6. 3. 23 (1公演)	演出・振付：いいむろなおき
(河内特別 古典芸能 参与企画)	船弁慶	5. 9. 24 (1公演)	出演：上田拓司、善竹隆司、福王和幸 ほか
	マイムと舞踊のあいだ (神戸女学院小ホール)	6. 3. 3 (1公演)	出演：花柳寛十郎、いいむろなおき、 清元延柳、河内厚郎 ほか

演 目		公演年月日	出演者等
こども向け公演	春爛漫 茂山狂言会 みんなで楽しく狂言会	5. 4. 2 (1公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日 スペシャル (KOBELCO 大ホール)	5. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	カラフル	5. 8. 12 ～13 (2公演)	原作・森絵都 演出：小林香 出演：鈴木福、川平慈英 ほか
社会包摂プログラム	知的・発達障がい児（者） にむけての劇場体験 プログラム！ (KOBELCO 大ホール)	6. 3. 3 (1公演)	出演：調整中 企画・コーディネート：国際障害者交流センター (ビッグ・アイ) 制作：兵庫県立芸術文化センター
合 計		7 事業	8 公演

(4) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

① 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等

音楽マネジメント事務所等との連携により、世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピール

演 目		公演年月日	出演者等
世界のオーケストラ	バーミンガム市交響 楽団 (KOBELCO 大ホール)	5. 6. 24 (1公演)	指揮：山田和樹 ヴァイオリン：樫本大進
	内田光子&マーラー・チェンバー・オーケストラ (KOBELCO 大ホール)	5. 11. 7 (1公演)	指揮・ピアノ：内田光子 管弦楽：マーラー・チェンバー・オーケストラ
	プラハ交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	6. 1. 8 (1公演)	指 揮：トマーシュ・ブラウネル チェロ：岡本侑也 管弦楽：プラハ交響楽団
	ウィーン交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	6. 3. 15 (1公演)	指揮：Omer Meir Wellber 管弦楽：ウィーン交響楽団
世界の巨匠	小曽根真スーパー・カルテット (KOBELCO 大ホール)	5. 5. 18 (1公演)	ピアノ：小曽根真 ベース：クリスチャン・マクブライド サクソ：ブランフォード・マルサリス ドラムス：ジェフ・“ティン”・ワッツ
	ヒラリー・ハーン&アンドレアス・ヘフリガー (KOBELCO 大ホール)	5. 6. 3 (1公演)	ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン ピアノ：アンドレアス・ヘフリガー

演 目		公演年月日	出演者等
世界の巨匠	ミハイル・プレトニョフ (KOBELCO 大ホール)	5. 9. 16 (1公演)	ピアノ：ミハイル・プレトニョフ
	レイフ・オヴェ・アンスネス (KOBELCO 大ホール)	5. 10. 21 (1公演)	ピアノ：レイフ・オヴェ・アンスネス
	クリスチャン・ツィメルマン (KOBELCO 大ホール)	5. 12. 9 (1公演)	ピアノ：クリスチャン・ツィメルマン
	ダニエル・オッテンザマー トリオ (神戸女学院小ホール)	5. 7. 6 (1公演)	クラリネット：ダニエル・オッテンザマー チェロ：シュテファン・コンツ ピアノ：クリストフ・トラクスラー
	ネストル・マルコーニ & 三浦一馬 (神戸女学院小ホール)	5. 8. 19 (1公演)	バンドネオン：ネストル・マルコーニ 三浦一馬 ピアノ：山中惇史
	ジュリアード弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	5. 10. 19 (1公演)	弦楽四重奏：ジュリアード弦楽四重奏団
	ダニエル・ゼペック、 タベア・ツィンマーマン & ジャン＝ギアン・ケラス (神戸女学院小ホール)	6. 3. 17 (1公演)	ヴァイオリン：ダニエル・ゼペック ヴィオラ：タベア・ツィンマーマン チェロ：ジャン＝ギアン・ケラス
バロック・スペシャル・プロジェクト	古楽スペシャル・プレ レクチャー「ヘンデル の楽しみ方 (仮)」 (阪急中ホール)	5. 9. 6 (2公演)	講師： 調整中
	鈴木 優 人 & BCJ の 「ジュリオ・チェーザレ」 (KOBELCO 大ホール)	5. 10. 7 (1公演)	指揮：鈴木優人 出演：バッハ・コレギウム・ジャパン
	濱田芳通指揮 アン トネッロ「メサイア」 (KOBELCO 大ホール)	5. 11. 25 (1公演)	指揮：濱田芳通 出演：アントネッロ
兵庫県出身、 世界で活躍する音楽家たち	三浦謙司 (KOBELCO 大ホール)	5. 10. 1 (1公演)	ピアノ：三浦謙司 (神戸市出身)
	河村尚子 & アレクサ ンドル・メルニコフ (神戸女学院小ホール)	5. 11. 17 (1公演)	ピアノ：河村尚子 (西宮市出身) アレクサンドル・メルニコフ

演 目		公演年月日	出演者等
日本を代表する音楽家たち	仲道郁代 (KOBELCO 大ホール)	5. 5. 21 (1公演)	ピアノ：仲道郁代
	堀米ゆず子のブラン デンブルク協奏曲 (KOBELCO 大ホール)	6. 2. 23 (1公演)	ヴァイオリン：堀米ゆず子、白井圭 チェロ：辻本玲 チェンバロ：曾根麻矢子 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団メンバー
	小菅優 (神戸女学院小ホール)	5. 11. 12 (1公演)	ピアノ：小菅優
	宮川彬良&アンサン ブル・ベガ ニュー イヤークンサート (神戸女学院小ホール)	6. 1. 6 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
兵庫ゆかりのバレエ団との提携公演	ベートーヴェン・ソナタ 〔貞松・浜田バレエ団共催〕 (阪急中ホール)	5. 7. 16 ～17 (2公演)	振付：中村恩恵 出演：貞松・浜田バレエ団
	白鳥の湖「The Lake」〔貞松・浜田バレエ 団共催〕(阪急中ホール)	6. 3. 16 ～17 (2公演)	振付：森優貴 出演：貞松・浜田バレエ団
こども・ファミリー向け公演	宮川彬良&アンサン ブル・ベガ こどもの 日スペシャル(再掲) (KOBELCO 大ホール)	5. 5. 5 (1公演)	出演：宮川彬良&アンサンブル・ベガ
	東京バレエ団「くるみ 割り人形」 〔NBS 共催〕 (KOBELCO 大ホール)	5. 12. 27 (1公演)	出演：東京バレエ団
その他クラシック・コンサート、リサイタル等	のだめカンタービレの 音楽会〔関西テレビ共催〕 (KOBELCO 大ホール)	5. 8. 12 ～13 (2公演)	企画・指揮・お話：茂木大輔 管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団
	ボニ・プエリ少年 合唱団 (KOBELCO 大ホール)	5. 12. 10 (1公演)	出演：ボニ・プエリ少年合唱団
	岡本知高 20 周年コン サート(仮) 〔民音共催〕 (KOBELCO 大ホール)	5. 12. 16 (1 公演)	ソプラニスタ：岡本知高
	マリコとオペラ！ (林真理子と歌手のオペラトーク &コンサート) 〔関西テレビ放送共催〕 (KOBELCO 大ホール)	6. 2. 25 (1公演)	出演：林真理子(作家)、 小林沙羅(ソプラノ) ほか
	ノトス・カルテット (神戸女学院小ホール)	5. 4. 9 (1公演)	ピアノ四重奏：ノトス・カルテット

演 目		公演年月日	出演者等
その他クラシック・コンサート、リサイタル等	青木尚佳、ジェノ・リスボア (神戸女学院小ホール)	5. 4. 16 (1公演)	ヴァイオリン：青木尚佳 ヴィオラ：ジェノ・リスボア チェロ：ウエンシン・ヤン
	ジョ ヴァンニ・ソッリマ (神戸女学院小ホール)	5. 4. 29 (1公演)	チェロ：ジョ ヴァンニ・ソッリマ
	森本隼太 [コロムビア共催] (神戸女学院小ホール)	5. 6. 28 (1公演)	ピアノ：森本隼太
	菊池洋子 (神戸女学院小ホール)	5. 7. 30 (1公演)	ピアノ：菊池洋子
	トリオ・アコード (神戸女学院小ホール)	5. 9. 30 (1公演)	ヴァイオリン：白井圭 チェロ：門脇大樹 ピアノ：津田裕也
	アレクサンドル・タローのサティ (神戸女学院小ホール)	5. 10. 15 (1公演)	ピアノ：アレクサンドル・タロー ほか
	ベンヤミン・アップル「冬の旅」 (神戸女学院小ホール)	5. 11. 26 (1公演)	バリトン：ベンヤミン・アップル ほか
	フォーレ四重奏団 (神戸女学院小ホール)	5. 12. 3 (1公演)	ピアノ四重奏：フォーレ四重奏団
	ニコロ・パガニーニの世界～鈴木大介、辻彩奈、藤木大地 (神戸女学院小ホール)	6. 1. 21 (1公演)	ギター：鈴木大介 ヴァイオリン：辻彩奈 カウンター・テナー：藤木大地
	宮田大&田村響 (神戸女学院小ホール)	6. 1. 27 (1公演)	チェロ：宮田大 ピアノ：田村響
	及川浩治 (神戸女学院小ホール)	6. 3. 2 (1公演)	ピアノ：及川浩治
	テレマン室内オーケストラ (神戸女学院小ホール)	6. 3. 7 (1公演)	出演：テレマン室内オーケストラ
	キアロスクーロ・カルテット (神戸女学院小ホール)	6. 3. 30 (1公演)	弦楽四重奏：キアロスクーロ・カルテット
合 計		4 4 事業	4 8 公演

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

② 国内外演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急 中ホール）

劇場・劇団とのネットワークにより、ストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、ダンス、狂言、落語など、幅広い層が楽しめる良質で多彩な演目を提供するとともに、シアターコンサート等、芸術文化センターならではの企画を展開

演 目		公演年月日	出演者等
実績のある公共劇場との連携 演劇・ミュージカル等（良質な作品制作）	エンジェルス・イン・アメリカ *新国立劇場との連携	5. 6. 10 (1公演)	作：トニー・クシュナー 演出：上村聡史 出演：浅野雅博、岩永達也、長村航希、坂本慶介、鈴木杏、那須佐代子、水夏希、山西 惇
	ある馬の物語 *世田谷パブリックシアターとの連携	5. 7. 22 ～23 (3公演)	演出：白井晃 出演：成河、別所哲也、小西遼生、音月桂 ほか
	カラフル（再掲） *世田谷パブリックシアターとの連携	5. 8. 12 ～13 (2公演)	原作・森絵都 演出：小林香 出演：鈴木福、川平慈英 ほか
	う蝕 *世田谷パブリックシアターとの連携	6. 3. 9～ 10 (2公演)	作：横山拓也 演出：瀬戸山美咲 出演：調整中
	天翔ける風に *東京芸術劇場との連携	5. 10. 13 ～16 (3公演)	原作：野田秀樹 演出：謝珠江 出演：調整中
演劇・ミュージカル等（幅広いファンにアピールする公演、エンターテインメント性の高い公演）	笑の大学	5. 4. 13～ 16 (6公演)	作・演出：三谷幸喜 出演：内野聖陽、瀬戸康史 ほか
	バックビート	5. 4. 28～ 5. 3 (7公演)	翻訳・演出：石丸さち子 出演：戸塚祥太、加藤和樹、辰巳雄大、JUON、上口耕平、愛加あゆ ほか
	シス・カンパニー公演	5. 6. 2 ～4 (4公演)	演出：小林顕作 出演：水谷豊、段田安則、高橋克実、堤真一、寺脇康文 ほか
	ヴィクトリア	5. 7. 5 ～6 (2公演)	演出：藤田俊太郎 出演：大竹しのぶ
	この子たちの夏	5. 7. 9 (1公演)	構成・演出：木村光一 演出補：シライケイタ 出演：旺なつき、かとうかず子、島田歌穂、床嶋佳子、西山水木、根岸季衣
	ケムリ研究室	5. 10. 26 ～29 (5公演)	作・演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出演：調整中

演 目		公演年月日	出演者等
演劇・ミュージカル等 (幅広いファンにアピールする 公演、エンターテインメント性の高い公演)	風間杜夫一人芝居	5. 11. 21 (1公演)	出演：風間杜夫
	前川知大演出作品	5. 12. 9 ～10 (2公演)	演出：前川知大 出演：調整中
	二兎社公演	6. 3. 2 (1公演)	演出：永井愛 出演：沢口靖子、生瀬勝久 ほか
ミ ュ ー ジ カ ル	スパイ・ファミリー (東宝) [梅田芸術劇場共催] (KOBELCO 大ホール)	5. 4. 11 ～16 (8公演)	演出：G2 出演：森崎ウィン／鈴木拡樹、唯月ふうか／ 佐々木美鈴 (ダブルキャスト) ほか
	ダーウィン・ヤング (東宝)	5. 6. 30 ～7. 2 (4公演)	演出：末満健一 出演：大東立樹／渡邊蒼 (ダブルキャスト)
伝 統 芸 能	春爛漫 茂山狂言会 お豆腐狂言会	5. 4. 2 (1公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	Cutting Edge Kyogen	5. 8. 26 (1公演)	出演：茂山千五郎 ほか
	万作萬斎狂言	5. 10. 19 ～20 (2公演)	出演：野村万作、野村萬斎 ほか
	淡路人形浄瑠璃特別 公演	6. 1. 6 (1公演)	出演：(公財) 淡路人形協会、淡路人形座

演 目		公演年月日	出演者等
落 語 会	月亭方正独演会	5. 4. 9 (1公演)	出演：月亭方正
	春風亭小朝独演会	5. 5. 14 (1公演)	出演：春風亭小朝
	柳家喬太郎独演会	5. 5. 21 (2公演)	出演：柳家喬太郎
	笑福亭松喬独演会	5. 6. 17 (1公演)	出演：笑福亭松喬
	桂吉弥独演会	5. 8. 6 (1公演)	出演：桂吉弥
	春風亭昇太独演会	5. 10. 6 (1公演)	出演：春風亭昇太
	特選落語競演会	5. 10. 21 (2公演)	出演：調整中
	桂文珍独演会	5. 11. 25 ～26 (2公演)	出演：桂文珍
	笑福亭鶴瓶独演会	6. 1. 27 ～28 (2公演)	出演：笑福亭鶴瓶
ダンス・	コンドルズ	5. 7. 29 (1公演)	出演：コンドルズ
合 計 30事業 71公演以上			

③ 舞台の楽しみを広げる音楽オリジナル『シリーズ企画』

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げる。

演 目		公演年月日	出演者等
世界音楽図鑑	小松亮太(バンドネオン) (KOBELCO 大ホール)	5. 10. 22 (1公演)	出演：小松亮太(バンドネオン) アンサンブル、 ナナ&アクセル (ダンサー) [アルゼンチン]
	灼熱のタランテッラ (阪急中ホール)	5. 9. 18 (1公演)	出演：カンツォニエーレ・グレカニーコ・サレン ティーノ [イタリア]
	ケルティック・クリスマス (阪急中ホール)	5. 12. 1 (1公演)	出演：ルナサ、ダーヴィッシュ、デヴィッド・ギ ーニー[アイルランド]
	カニサレス (神戸女学院小ホール)	5. 7. 12 (1公演)	出演：カニサレス (ギター) ほか [スペイン]
	スヴェング (神戸女学院小ホール)	6. 1. 20 (1公演)	出演：スヴェング (ハーモニカ四重奏) [フィンランド]

演 目		公演年月日	出演者等
古 楽 の 愉 し み	平崎真弓&クリスティアン・ベザイデンホウト (神戸女学院小ホール)	5. 5. 13 (1公演)	出演：平崎真弓 (ヴァイオリン) クリスティアン・ベザイデンホウト (フォルテピアノ)
	ファミ・アルカイ&荘村清志 (神戸女学院小ホール)	5. 6. 11 (1公演)	出演：ファミ・アルカイ (ヴィオラ・ダ・ガンバ) 荘村清志 (ギター)
	古楽プレレクチャー「ヘンデルの楽しみ方 (仮)」 (阪急中ホール)	5. 9. 6 (2公演)	講師： 調整中
	レア・デサンドレ & トーマス・ダンフォード (神戸女学院小ホール)	5. 9. 23 (1公演)	出演：レア・デサンドレ(メゾ・ソプラノ) トーマス・ダンフォード(リュート)
	鈴木優人&BCJ の「ジュリオ・チェーザレ」 (再掲) (KOBELCO 大ホール)	5. 10. 7 (1公演)	指揮：鈴木優人 出演：バッハ・コレギウム・ジャパン
	クリスティアン・ベザイデンホウト (神戸女学院小ホール)	5. 10. 14 (1公演)	出演：クリスティアン・ベザイデンホウト (チェンバロ)
	ジャン・ロンドー (神戸女学院小ホール)	5. 10. 29 (1公演)	出演：ジャン・ロンドー (チェンバロ)
	濱田芳通指揮 アントネッロ 「メサイア」 (再掲) (KOBELCO 大ホール)	5. 11. 25 (1公演)	指揮：濱田芳通 出演：アントネッロ
	第2回ショパン国際ピリオド楽器コンクール 優勝者コンサート (神戸女学院小ホール)	6. 1. 26 (1公演)	出演： 第2回ショパン国際ピリオド楽器 コンクール優勝者
ク リ ス マ ス ・ ジ ャ ズ ・ フ ェ ス テ ィ バ ル	渡辺貞夫 (KOBELCO 大ホール)	5. 12. 8 (1公演)	出演：渡辺貞夫 (アルトサックス)
	アロージャズオーケストラ (KOBELCO 大ホール)	5. 12. 24 (1公演)	出演：アロージャズオーケストラ
	大林武司×塩谷哲 2 台ピアノ・リサイタル (阪急中ホール)	5. 12. 12 (1公演)	出演：大林武司 (ピアノ) 塩谷哲 (ピアノ)
	神戸ジャズ 100 年 西口明宏×馬場智章×陸悠 サックス・トリオ with 原朋直 (神戸女学院小ホール)	5. 12. 6 (1公演)	出演：西口明宏 (サックス)、馬場智章 (サックス) 陸悠 (サックス)、原朋直 (トランペット) ほか
	北村英治カルテット (神戸女学院小ホール)	5. 12. 14 (1公演)	出演：北村英治 (クラリネット)
	アトリエ澤野スペシャル (神戸女学院小ホール)	5. 12. 21 (1公演)	出演：アトリエ澤野アーティスト

演 目		公演年月日	出演者等
ステップコンサート	小松亮太(バンドネオン) (KOBELCO 大ホール) (再掲)	5. 10. 22 (1公演)	出演：小松亮太(バンドネオン) アンサンブル、 ナナ&アクセル (ダンサー)
合 計		2 1 事業	2 2 公演

(5) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

① プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサート等

(ア) プロムナード・コンサート (KOBELCO 大ホール)

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラムによる低額入場料 (2,000 円程度) 公演を開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
ユーハン・ダーレネ	5. 5. 14 (1公演)	出演：ユーハン・ダーレネ (ヴァイオリン)、 エリック・ルー (ピアノ)
福川伸陽	5. 6. 10 (1公演)	出演：福川伸陽 (ホルン)、中野翔太 (ピアノ)
三浦謙司 (再掲)	5. 10. 1 (1公演)	出演：三浦謙司 (ピアノ)
びわ湖ホール声楽アンサンブル「美しい日本の歌」	5. 11. 3 (1公演)	出演：本山秀毅 (指揮)、びわ湖ホール声楽アンサンブル、京都フィルハーモニー室内合奏団
ライナー・ホーネック & 菊池洋子	6. 3. 10 (1公演)	出演：ライナー・ホーネック (ヴァイオリン) 菊池洋子 (ピアノ)
合 計		5 事業 5 公演

(イ) ワンコイン・コンサート (入場料 500 円) (KOBELCO 大ホール)

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客 (裾野の拡大) をめざす。

出 演 者	公演年月日	出演者等
岸本萌乃加 (ヴァイオリン)	5. 4. 18 (1公演)	東京藝術大学音楽学部附属音楽高校を経て、同大学を首席で卒業し、アカンサス音楽賞及び三菱地所賞受賞。同大学院修士課程修了時に大学院アカンサス音楽賞受賞。東京音楽コンクール第 1 位。日本音楽コンクール第 3 位。元佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラメンバー。読売日本交響楽団次席第 1 ヴァイオリン奏者。
PAC 山下真理奈 (クラリネット)	5. 5. 16 (1公演)	兵庫県出身。滝川第二高等学校、大阪音楽大学卒業後、スイスジュネーヴ州立高等音楽院マスターコース修了。第一回堺管打楽器コンクール木管部門最優秀賞及びグランプリ、堺市長賞を受賞。第一回ウーヴェルチュールコンサートで最優秀を受賞、大阪市音楽団と共演。兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメンバー。

出 演 者	公演年月日	出演者等
安井悠陽（ファゴット）	5. 6. 22 (1公演)	東京藝術大学大学院音楽研究科卒業。第 29 回宝塚ベガ音楽コンクール木管部門第 2 位。第 15 回東京音楽コンクール木管部門入賞。第 1 回ファゴット協会コンクール第 1 位。第 36 回日本管打楽器コンクールファゴット部門第 4 位。現在、日本センチュリー交響楽団首席ファゴット奏者。
杉田恵理（ヴィオラ）	5. 8. 18 (1公演)	兵庫県出身。桐朋学園大学、クロンベルクアカデミー、ベルリン芸術大学卒業。クアルテット・ベルリン・トウキョウ、フィンランド放送交響楽団副首席奏者を経て、ゲスト首席奏者として国内外のオーケストラに出演。ARD ミュンヘン国際音楽コンクール弦楽四重奏部門特別賞受賞。令和 3 年度坂井時忠音楽賞受賞。
木村 玲 (ユーフォニアム)	5. 9. 12 (1公演)	兵庫県出身。愛知県立芸術大学首席で卒業、桑原賞受賞。パリ地方音楽院留学中。第 23 回日本クラシック音楽コンクール第 1 位、第 35 回日本管打楽器コンクール第 3 位など国内外の主要コンクールで入賞多数。大学在学中よりソリストと広島交響楽団、オオサカ・シオン・ウィンドオーケストラなどで客演。
益田早織 (メゾ・ソプラノ)	5. 10. 17 (1公演)	東京藝術大学音楽学部卒業。第九、メサイア、ヴェルディのレクイエム等宗教曲のソリストを、オペラでは「森は生きている」おっかさん、「泣いた赤鬼」女房等を演じる。第 88 回、第 91 回日本音楽コンクール入選、第 24 回松方ホール音楽賞受賞。びわ湖ホール声楽アンサンブル・ソロ登録メンバー。
鳥居侑平（和太鼓）	5. 11. 22 (1公演)	2015 年より兵庫県を中心に活動する和太鼓松村組メンバーに。北海道、愛知、関西など全国各地で演奏活動を展開。2019 年 10 月には和太鼓フェスティバル「夢まつり～和で広める輪～」を神戸市垂水区にて活動している和太鼓チームとともに主催し成功させる。令和 2 年度兵庫県若人の賞受賞。
中谷彩花（ピアノ）	5. 12. 14 (1公演)	兵庫県在住。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、ロシアグネーシン音楽アカデミーを卒業。ロシア政府給費生、文化庁新進芸術家海外研修員として研鑽を積む。ベラルーシ国立室内管弦楽団、ヤロスラヴリ交響楽団等と共演。CHANEL Pygmalion Days Artist。全日本ピアノ指導者協会正会員。
皆川隼人（チェロ）	6. 2. 20 (1公演)	兵庫県出身。平成 19 年度文化庁新進芸術家在外研修員として渡独。ニュルンベルク国立音楽大学に留学。帰国後、大阪音楽大学を優秀賞にて卒業。在学中、ザ・カレッジ・オペラハウス管と協奏曲を共演。令和元年度兵庫県若人の賞、ひょうごアーティストサロン賞を受賞。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団団員。
西馬健史（トランペット）	6. 3. 6 (1公演)	兵庫県出身。大阪音楽大学短期大学部卒業。2008 年ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団に準団員として入団。2011 年京都市交響楽団に入団。第 7 回大阪国際音楽コンクール 2 位。第 25 回日本管打楽器コンクール 4 位。第 84 回日本音楽コンクール入選。現在、京都市交響楽団トランペット奏者。
合 計		10 事業 10 公演

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業（ワンコイン・コンサート等）の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催
(アドバイザー)

中村孝義（大阪音楽大学理事長）、響敏也（音楽評論家）、藤本賢市（神戸新聞社）、青木さやか（読売新聞大阪本社編集局文化部記者）

(ウ) ワンコイン・コンサート NO.1 アーティスト アンコール・リサイタル

2022 年の出演アーティストの中から選出（神戸女学院小ホール）

演 目	公演年月日	出演者等
中田 麦（マリンバ）	6. 3. 19 (1公演)	6 歳から和太鼓、9 歳からマリンバを始める。京都市立音楽高等学校（現・京都市立京都堀川音楽高等学校）を経て、京都市立芸術大学音楽学部入学。第 28 回、第 31 回日本管打楽器コンクールマリンバ部門第 2 位。2012 年度青山音楽賞新人賞受賞。
合 計		1 事業 1 公演

(エ) ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝う芸文センター新企画のコンサート
(KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等
次年度ワンコイン・コンサート出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	6. 1. 3 (1公演)	次年度ワンコイン・コンサート出演者
合 計		1 事業 1 公演

(オ) ワンコイン・プレ・レクチャー(阪急 中ホール)

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでいただくため、オペラ歌手によるハイライトコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集客（裾野の拡大）をめざす。

演 目	公演年月日	出演者等
「ドン・ジョヴァンニ」 ハイライトコンサート ～ええとこどり！（再掲）	5. 4. 19 ～20 (2公演)	出演：下林一也、白石優子、ほか ピアノとお話：伊原敏行 構成・ステージング：高木愛
	5. 4. 23	洲本市文化体育館 文化ホール
	4. 29	稲美町立コスモホール
	5. 3	三田市郷の音ホール（小）
	5. 6	丹波篠山市立田園交響ホール
	5. 7	市川町文化センターひまわりホール
5. 14 (6公演)		小野市うるおい交流館エクラホール

演 目	公演年月日	出演者等
「ドン・ジョヴァンニ」 ワンコイン・プレ・レクチャー (再掲) (阪急中ホール)	①5. 5. 25 ②5. 6. 16 (4公演)	①講師：根本卓也 (新国立劇場音楽スタッフ／ 鍵盤奏者、作曲家) ②講師：井内美香 (オペラ・キュレーター)
合 計		2 事業 1 2 公演 6 公演 (県内公演)

(カ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・
コンサートを開催

演 目	公演年月日	出演者等
ドリーム・コンチェルト *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24 年から 12 回目 協賛継続	5. 5. 20 (1公演)	指揮：原田慶太楼 出演：谷口耕平 (テノール)、 辻 姫子 (トロンボーン)、久末航 (ピアノ)、 岩見玲奈 (マリンバ)、 林周雅 (ヴァイオリン)、梨谷桃子 (ソプラノ) 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団
合 計		1 事業 1 公演

(キ) 舞台芸術団体フェスティバル (共催) (県域団体)

	演 目	公演年月日	主催団体
KOBELCO 大ホール	2023 年度兵庫県合唱コンクール小学校・中学校・高等学校の部	5. 8. 19 (1公演)	兵庫県合唱連盟
	ふれあい文化の祭典 「兵庫県交響楽祭」	5. 9. 18 (1公演)	兵庫県オーケストラ協議会
阪急中ホール	ふれあい文化の祭典 「ひょうご邦楽の祭典」	5. 9. 3 (1公演)	兵庫県箏絃連盟
	「父と暮らせば」	5. 9. 23 (1公演)	兵庫県劇団協議会/劇団道化座
	ミュージカル「モンキーパラダイス 2023」	5. 9. 30 (1公演)	(公財)姫路市文化国際交流財団/ kei Music Street
神戸女学院小ホール	「ブラビッシモ」 ファミリーコンサート	5. 8. 20 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会/ 尼崎市文化団体協議会
	「アンサンブルでほっ Vol. 4」	5. 8. 26 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議/ アンサンブル レガーマ
	「ピアノデュオ 名曲の楽しみ」	5. 8. 27 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議/ アンサンブル フォルティッシモ
	「We Love Marimba コンサート」	5. 9. 9 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議/ 神戸マリンバソサエティ
	ふれあい文化の祭典 「アンサンブルフェスティバル in ひょうご」	5. 9. 10 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議
	「第 29 回アルカディア特別演奏会」	5. 9. 16 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会/ (公財)アルカディア音楽芸術財団
合 計		1 1 事業	1 1 公演

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急 中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等
ファミリー劇場 ファミリー劇場 「森のなかの海賊船～こ そあどの森の物語～」	5. 12. 23 ～24 (3公演)	作：岡田 淳 台本：秋浜悟史 潤色・演出：平井久美子（ピッコロ劇団） 音楽：園田容子 出演：ピッコロ劇団員 ほか
兵庫県立ピッコロ劇団 第 78 回公演 ピッコロ シアタープロデュース 「ロボット-RUR-」（仮）	6. 2. 23 ～25 (5公演)	作 ：カレル・チャペック 翻 訳：田才益夫 演 出：高橋正徳（文学座） 出 演：ピッコロ劇団員、関西俳優陣
合 計 2 事業 8 公演		

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開していく。(県内41市町一巡達成 H26.4月)

- ① コアメンバー（10型2管）をベースに、レジデント・プレイヤーを加え12型（標準）、アソシエイト・プレイヤーを加え14型（大規模編成）にも安定的・フレキシブルに対応。
- ② クオリティの高い演奏を提供するとともにアカデミーとしてコアメンバーをリードするため弦パート・トップ中心に「ゲストトップ」奏者（国内オーケストラ首席級）を招聘
 - ・芸術監督：佐渡裕 ・レジデント・コンダクター：岩村力
 - ・コンサートマスター：田野倉雅秋、豊嶋泰嗣
 - ・コアメンバー：14パート48人

(10型2管編成、35歳以下、3年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜)
(令和4年9月現在:10カ国 14パート41人 平均年齢27.7歳)

① 演奏会活動

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施

(ア) 定期演奏会（KOBELCO 大ホール）

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求する。

演 目	公演年月日	出演者等
〔2022-2023 シーズン〕 第141回 エルガー：ヴァイオリン協奏曲	5. 5. 26 ～28 (3公演)	指 揮：下野竜也 ヴァイオリン：三浦文彰
第142回 ストラヴィンスキー：バレエ音楽 「火の鳥」(1910年原典版)	5. 6. 16 ～18 (3公演)	指 揮：井上道義 舞 踊：森山開次、本島美和 ほか
第143回 ヒンデミット：室内音楽第5番	5. 8. 4 ～6 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 ヴィオラ：谷口朱佳
〔2023-2024 シーズン〕 第144回 ブラーム：ピアノ協奏曲	5. 9. 8 ～10 (3公演)	指 揮：佐渡 裕 ピアノ：反田恭平
第145回 ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第1番	5. 10. 27 ～29 (3公演)	指 揮：カーチュン・ウォン ピアノ：小曾根 真
第146回 ドビュッシー：クラリネットのための第1 狂詩曲	5. 11. 17 ～19 (3公演)	指 揮：アレクサンドロ・ボナート クラリネット：ポール・メイユ
第147回 マーラー：交響曲第9番	6. 1. 12 ～14 (3公演)	指 揮：佐渡 裕

演 目	公演年月日	出演者等
第 148 回 モーツァルト：フルトとハープのための協奏曲	6. 2. 9 ～11 (3公演)	指揮：ハンスイェルク・シェレンベルガー ハープ：マルギット＝アナ・シュース
第 149 回 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第 1 番	6. 3. 22 ～24 (3公演)	指揮：シルヴァン・カンブルラン ピアノ：中川優芽花
第 150 回 松下功：和太鼓協奏曲「飛天遊」	6. 5. 10 ～12 (3公演)	指揮：角田鋼亮 太鼓：林 英哲
第 151 回 スメタナ：連作交響詩「わが祖国」	6. 6. 14 ～16 (3公演)	指揮：下野竜也
第 152 回 アルチャノン：トランペット協奏曲	6. 8. 2 ～4 (3公演)	指揮：佐渡 裕 トランペット：セリーナ・オット
合 計 9 事業 27 公演		

*2022-2023 シーズン定期会員数 3,250 (金曜 1,059, 土曜 1,122, 日曜 1,069)

(イ) 特別演奏会

名曲コンサート、ファミリーコンサート、ポップスコンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を広げる。

演 目	公演年月日	出演者等
PAC 子どものためのオーケストラ・コンサート (KOBELCO 大ホール)	5. 4. 22 (1公演)	指揮：岩村 力
第 38 回 名曲コンサート (KOBELCO 大ホール)	6. 3. 16 (1公演)	指揮：オッコ・カム
リサイタルシリーズ (神戸女学院小ホール)	5. 5. 2 (1公演)	出演：PAC コアメンバー
PAC 子どものためのオーケストラ・コンサート (KOBELCO 大ホール)	6. 3. 30 (1公演)	指揮：調整中
合 計 4 事業 4 公演		

(ウ) 室内楽演奏会（神戸女学院小ホール）

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせ。幅広い編成で高度な公演を実現。

演 目	公演年月日	出演者等
室内楽シリーズ 第 75 回 金管楽器セクション	5. 4. 15 (1公演)	バス・トロンボーン、指揮：ブレア・ボリンジャー
第 76 回 木管楽器セクション	5. 5. 10 (1公演)	オボエ：クリストフ・ハルトマン

演 目		公演年月日	出演者等
室内楽シリーズ	第 77 回 打楽器セクション	5. 6. 24 (1公演)	ティンパニ：トーマス・レヒナー
	第 78 回 調整中	6. 3. 9 (1公演)	調整中
合 計		4 事業	4 公演

(エ) センター事業への出演 4 事業 11 公演 (再掲)

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏

② 体験教育・普及活動

(ア) 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 40 公演 (KOBELCO 大ホール)

兵庫県内の中学 1 年生 (約 4 万 5 千人全員) を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育 (体験教育) の振興を図る。

【企 画】佐渡裕芸術監督 【指 揮】岩村力也 (デント・コンダクター) ほか

【内 容】第 1 部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介
第 2 部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約 1 時間 (70 分)

【時 期】令和 5 年 5 月 31 日 (水) ～令和 6 年 1 月 26 日 (金)

(イ) アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団の PR を図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施 (医療機関、福祉施設、小中高等学校、参画と協働を実践する地域活動への参加等)

*平成 29 年度～小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ (公募により募集) を重点実施

*令和 3 年度～中学・高校吹奏楽部を対象に遠方でも可能なリモートレッスンにより演奏等を指導

(ウ) スーパーキッズ・オーケストラ公演 令和 5 年 8 月 27 日 (日)・2 公演 KOBELCO 大ホール

③ 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へ PR (県内外からの依頼公演等)

(ア) 県内外ホールと連携した演奏活動

(a) 佐渡裕芸術監督指揮によるコンサート

高砂市 (高砂市文化会館) 7 月 29 日 (土)

太子町 (太子町立文化会館) 7 月 31 日 (月)

明石市 (明石市民会館) 8 月 2 日 (水)

(イ) 幅広いニーズに対応した演奏活動

(a) 武庫川コンチェルト 10 月 9 日 (月・祝)

(b) 大阪シンフォニッククワイア 10 月 14 日 (土)

(c) 小林聖心女子学院創立 100 周年記念コンサート 11 月 2 日 (木)

(d) 須磨学園 11 月 6 日 (月)

(e) 1 万人の第九 (大阪城ホール) 12 月 3 日 (日)

(f) オーケストラ・キャラバン (2 公演) *外部公演 11 月・12 月 (調整中)

(ウ) 県議会議場コンサート 2 月 (2 月県会開会日)

④ コアメンバー演奏力の強化

(ア) PACシーズン・オープニング・フェスティバル（ミュージックキャンプ）

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め（9月）に国内外より著名な指導者陣（スペシャル・ゲスト・プレイヤー）を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図る（ミュージックキャンプ）。

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催（共同主催）することで、地域における音楽文化の発展に寄与する（フェスティバル）。

【時 期】令和5年9月1日（金）～9月3日（日）3日間

＊その直後の佐渡監督指揮・第144回定期演奏会（9/8～9/10）に成果を繋げる

【会 場】洲本市文化体育館

【内 容】①室内楽プログラム（スペシャル・ゲスト・プレイヤーのリーダーシップ）

②オーケストラプログラム（指揮：佐渡芸術監督）

③アウトリーチコンサート、④リハーサル公開、マスタークラス 等

【スケジュール】9月1日（金）～3日（日）リハーサル・公演、マスタークラス、公開リハ、アウトリーチ等実施

【出 演】佐渡裕（指揮・芸術監督）

兵庫芸術文化センター管弦楽団（コアメンバー）

スペシャル・ゲスト・プレイヤー（調整中）

（開催地）平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒平成30年篠山市
⇒令和元年明石市⇒令和2年洲本市（中止）⇒令和3年養父市（合宿・無観客配信実施）⇒令和4年養父市⇒令和5年洲本市

（イ）世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘（特別契約演奏者）し、当楽団との共演、指導（マスタークラス）により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設ける。

⑤ 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動

・東日本大震災復興祈念等事業資金

センター職員が、外部の委員会（芸術文化関連）の委員として従事したり、大学等で講義・講演を行う場合の報酬等や大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理し、被災地への支援活動を行い有効活用。

① 財源：寄附金、表彰副賞、委員謝金 等

＊第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞（地域政策研究会 500 千円）、神戸新聞平和賞副賞（神戸新聞 300 千円）、福島原発事故賠償金（東京電力 7,386 千円）、大口の寄附金（H25:2,000 千円、H26:4,000 千円、H28:3,182 千円、H29:55,500 千円）等

＊委員謝金：45 件 1,464 千円、講師謝金：70 件 12,320 千円（H23～R4）

② 充当事業

（ア）スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏

（イ）PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動

（ウ）プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等

・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産

サントリーホールディングス㈱がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成26年度）いただいた150,000千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成27年度から10年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」の一環）

＜ホール別の主催事業数・公演数＞

区 分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事業	
KOBELCO 大ホール	43 事業 58 公演	2 事業 2 公演	13 事業 32 公演	1 事業 40 公演	59 事業 132 公演
阪急 中ホール	43 事業 85 公演	5 事業 11 公演	—	—	48 事業 96 公演
神戸女学院 小ホール	34 事業 34 公演	6 事業 6 公演	5 事業 5 公演	—	45 事業 45 公演
小計	120 事業 177 公演	13 事業 19 公演	18 事業 37 公演	1 事業 40 公演	152 事業 273 公演
外部公演	6 公演	—	3 事業 3 公演	—	3 事業 9 公演
楽団外部依頼公演	—	—	9 事業 9 公演	—	9 事業 9 公演
計	120 事業 183 公演	13 事業 19 公演	30 事業 49 公演	1 事業 40 公演	164 事業 291 公演
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

〔注 1〕 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

3 芸術文化センター広報・普及活動

(1) 広報活動

① 多面的な広報宣伝活動

新聞・テレビ・DM・WEB・メルマガといった様々なメディアを組み合わせるクロスメディア展開により、芸文センターの認知度向上や新たなファンの発掘・裾野拡大、チケット購買促進を図る。

(ア) 記者会見等の実施

メディア取材を誘致するために、記者会見、取材会、プレスリリースなどを積極的に実施する。

(イ) 広告宣伝の実施

チケット購買促進のために、様々なメディアを活用して効果的な広告宣伝を実施する。

② 自主媒体による展開

(ア) 情報誌「ひょうご舞台芸術」の発行【年2回／各6万部】

実施した主催公演を特集した情報誌を半年ごとに発行。先行予約会員ほか、各公共施設等に配布し、芸文センターの舞台芸術を紹介する。

(イ) 会報誌の発行【月1回／45,000～60,000部】

先行予約会員向けに主催公演の発売案内とチラシを一緒に送付することにより、チケット購買促進を図る。

(ウ) 「公演スケジュール」の発行【月1回／各6,000部】

主催・貸館公演を一覧にした月間スケジュールを発行し、記者や県内施設等に配布して、芸文センター事業を広く周知

(エ) 芸文センターWebサイトの運営 (<https://www.gcenter-hyogo.jp>)

芸文センターの周知及び、チケット購買促進を図る。

【主な内容】ニュース&トピックス、施設予約、公演チケット販売など

(オ) 特設Webサイトの運営

(a) 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ特設サイト

プロデュースオペラ 2023「ドン・ジョヴァンニ」を紹介する。

【内容】作品・キャスト等の紹介、最新ニュース、過去のオペラ 等

(b) 兵庫芸術文化センター管弦楽団特設サイト (H19.2 開設) <https://hpac-orc.jp/>

楽団の周知及び活動を紹介する。

【内容】演奏会情報、メンバーの紹介、活動紹介、公募情報、最新ニュース 等

(カ) メールマガジンの発行【月1回以上／約3万人】

発売日前に発売公演情報等を配信するとともに、随時、臨時号を発行する。

(キ) SNS の活用

(a) 公式 Twitter アカウント (H28.12 利用開始)

芸文センターWeb サイト掲載の発売情報やニュース&トピックスなどの情報を拡散する有効な手段として活用する。

(b) プロデュースオペラ公式 Twitter アカウント (H29.2 利用開始)

オペラに特化した情報を配信する。

(c) プロデュースオペラ公式 Instagram アカウント (R1.12 利用開始)

オペラの練習風景などの動画を配信する。

(ク) 動画の配信

(a) 楽団公式 YouTube の活用 (H25.11 利用開始)

定期演奏会のライブ映像やゲスト奏者の紹介映像を全世界に発信し、楽団及び楽団員の活動を紹介するとともに、国内外の優秀な若手演奏家の楽団入団を促進

【配信中のコンテンツ】

- ・すみれの花咲く頃プロジェクト vol.1～32、final 編
- ・オーケストラ公演の再開に向けて～ディスカッションとデモ演奏～
- ・Meet-HPAC リサイタルホールから Vol.1～Vol.24
- ・わくわく Online オーケストラ教室
「妖精パックのオーケストラってなあ～に？」 part 1～4

③ 芸術文化センター先行予約会員制度（無料会員）

【特典】 チケット先行発売（価格割引なし）インターネット購入
会報誌（先行予約会員 NEWS）・公演チラシ送付
情報誌「ひょうご舞台芸術」送付

【会員数】 60,549 人（県内 34,300 人・県外 26,249 人 [令和 4 年 3 月 31 日現在]）

④ チケット販売体制

(ア) チケットオフィスの運営

プレイガイドの電話受付が縮小する中、インターネット環境のない人に対応するため、発売日にスタッフ 40 名、電話 35 台という他の劇場では類を見ない充実した電話受付体制を取るとともに、柔軟な増員対応で電話受付や窓口の混雑緩和を図り、顧客満足度向上を図る。

電話受付の通話録音及び音声自動応答システムにより聞き間違いを防止するなど、サービス品質向上を図るとともに、混雑時でもつながりやすいように問い合わせ専用の電話窓口を設ける。

(イ) チケット販売・会員管理システムの運営

チケット発売日のアクセス集中時でも安定稼働し、利用しやすいオンラインシステムを目指すとともに、「改正個人情報保護法」に対応したセキュリティ対策を講じる。

(2) 主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのワークショップなどを実施

① 公開リハーサル

(a) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ

「ドン・ジョヴァンニ」公開リハーサル (KOBELCO 大ホール)

【日程】 令和 5 年 7 月 11 日 (火)、12 日 (水)

(b) 楽団「定期演奏会」公開リハーサル (KOBELCO 大ホール)

定期会員を対象に「定期演奏会」の公開リハーサルを実施 [各 1 回、計 9 回]

② ワークショップ

オペラ創造ワークショップ「ドン・ジョヴァンニ」の制作アトリエ
(KOBELCO 大ホール)

【日程】 令和 5 年 7 月 13 日 (木)

【登壇者】 佐渡裕 (指揮・芸術監督) ほか

③ バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にすることのできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催

内 容		開催日
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2023		
第1回	なるほど「KOBELCO 大ホール」編	5. 5. 17 (2回)
第2回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	5. 8. 30 (2回)
第3回	なるほど「PAC オーケストラ」編	5. 9. 27 ～9. 28 (2回)
第4回	なるほど「阪急中ホール」編	5. 10. 31 (2回)
第5回	なるほど「建物と仕事人」編	5. 11. 28 (2回)
第6回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	6. 1. 24 (1回)
合 計		6 事業 11 回

④ 企画展示（共通ロビー情報コーナー「ポッケ」）

（a） バレエ・コレクション企画展示（年2回）

故薄井憲二氏（舞踊家、日本バレエ協会元会長）の貴重なバレエ・コレクションを活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観する。

（b） 主催事業関連企画展示

自主企画公演等と連動した展示を行い事業の効果的なPRを図る。

【時 期】令和5年7月（プロデュースオペラ「ドン・ジョヴァンニ」）ほか

⑤ 薄井憲二バレエ・コレクション

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料（書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約6,500点）、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出す。

（3） ひょうごプレミアム芸術デーの開催

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放や、特別イベントを実施するひょうごプレミアム芸術デーを開催

実施日：令和5年8月3日（予定）

内 容：施設の無料開放

特別イベントの実施（バックステージツアー、ワークショップ等）

4 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

（１） 施設の管理運営

* 施設利用（貸館）受付の状況

（i）本格的舞台芸術公演の優先利用受付（18 か月前受付）

毎月 1 日から 18 か月後の月分を受付

（ii）一般（貸館）利用受付

a ホール（12 か月前受付）

毎月 1 日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は 4 か月前の末日までに随時受付

【ホール利用計画】 令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月（令和 5 年 3 月現在）

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
					主催事業	貸館事業
	基準	計画	基準	計画	計画	計画
KOBELCO 大ホール	290	307	203 (70%)	284 (139.9%) [92.5%]	215 [75.7%]	69 [24.3%]
阪急 中ホール		300		273 (134.5%) [91.0%]	216 [79.1%]	57 [20.9%]
神戸女学院 小ホール		299		296 (145.8%) [99.0%]	68 [23.0%]	228 [77.0%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の（ ）内：利用日数（基準）と比較した利用率、[]内：開館日数（計画）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の[]内：利用日数（計画）と比較した利用率

b スタジオ、リハーサル室（3 か月前受付）

毎月 1 日に 3 か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

* 舞台芸術専門スタッフによる公演サポート（創造支援）

舞台技術（舞台、音響、照明）専門スタッフをはじめ各部門の専門スタッフにより、施設利用者の創作・発表を企画段階から様々な角度より支援する。

① 人材育成

（a）舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進（舞台技術セミナー 9 月以降）

(b) アートマネジメント関係の人材育成

将来を担う人材育成のための実践的なセミナーなどを業界関係者や大学等と連携して実施

- a アートマネジメント講座の開催（2～3月）
アートマネジメントに必要な専門的知識・技術の習得を目的として開催
- b 大学でのアートマネジメント講座
大学「アートマネジメント講座」への講師派遣（通年）
神戸女学院大学、大阪音楽大学等
- c トライやる・ウィーク 中学2年生受入（5月～6月）
- d 社会人研修受入
- e 芸術文化観光専門職大学の臨地実務実習受入

② 地域連携・にぎわいづくり事業

(a) プロデュースオペラ 「ドン・ジョヴァンニ」前夜祭（再掲）

「ドン・ジョヴァンニ」のロングラン公演の成功を祝し開催

【時 期】令和5年7月13日（木）

【内 容】①「ドン・ジョヴァンニ」関連ミニコンサート

②参加者全員での「にしきたずっと節」ほか

【主 催】西北活性化協議会

(b) <LALALA にしきたミュージシャン・コンテスト 2023（第16回）>

“にしきたを音楽の街に”をテーマに、街のアーティストの活動支援を行う。

【時 期】令和5年11月18日（土）（阪急中ホール）（決戦）

（予選：令和5年9～10月実施）

【内 容】ジャズ・クラシック・軽音楽・コーラス等

【主 催】西北活性化協議会

(c) クリスマス・イベント

【時 期】令和5年12月（高松公園・芸術文化センター 1階メインエントランス）

【主 催】西北活性化協議会

* 地元企業との連携

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）

(2) 公立ホール等との連携

① 公立文化施設協議会等

兵庫県公立文化施設協議会（加盟37ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協会近畿地区、多面・大規模舞台劇場協議会、劇場、音楽堂等連絡協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深める。

② 公共劇場舞台技術者連絡会

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟21ホール）の副会長として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指す。

③ 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

[参考]・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備。平成27年度予算に「調査費」2,000万円を計上。経済界では「音楽ホール建設基金」が始動。音楽関係者が「楽都・仙台に復興祈念『2,000席規模の音楽ホール』を！市民会議」を設立

- ・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化ホール）を新設。平成 28 年度建設工事着手。令和 2 年 10 月オープン。
 - ・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館にかわる「総合文化施設」（枚方市総合文化芸術センター）を整備。平成 27 年 2 月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成 27 年度設計業務着手。平成 29 年度着工、令和 3 年度供用開始。
 - ・高槻市（大阪府）：老朽化した市民会館の建替。平成 27 年度基本計画策定。平成 28 年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和 5 年度開館予定。
 - ・姫路市：姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャスティ 21 イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備。「姫路市文化コンベンションセンター」として令和 3 年度開館。
 - ・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成 30 年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣。（平成 29 年度）
- ＊その他、全国から視察を受入

（３） 各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和 5 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで（3 年間） ＊ 6 期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛 称	金 額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000 万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急 中ホール	1,500 万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500 万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

（４） 賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

① 賛助会員制度

芸文センター及び楽団活動を支援してもらうため、芸術文化に関心を寄せる地元企業を中心に賛助会員を募る。（令和 5 年 2 月現在 17 社）

（a）賛助会員の種別

- ・特別賛助会員（ゴールド会員）年額 300 万円（1 社）
- ・特別賛助会員（シルバー会員）年額 100 万円（3 社）
- ・一般賛助会員（1 口）年額 5 万円（13 社 27 口）

（b）主な特典（社名公表は希望がある場合）

【共通】

- ・センターのホームページに社名を掲示、会員のホームページにリンク
- ・自主公演に招待

【特別賛助会員】

- ・2 階エントランスロビーのスポンサーパネルに社名掲示
- ・会報誌に社名掲載
- ・楽団定期演奏会プログラムに会社 P R 広告掲載
- ・情報誌「ひょうご舞台芸術」に会社 P R 広告掲載

【一般賛助会員】

- ・情報誌「ひょうご舞台芸術」に社名掲載

② 各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努める。

＊（独法）日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業 同ネットワーク強化事業ほか

③ 民間支援の受入れ（主なもの）

- （a）NPO法人イエロー・エンジェル（理事長：宗次徳二氏・名古屋市）による
コントラバスの無償貸与
コントラバス名：ヤナリス・ガリアーノ（1776年・イタリア製）ほか
- （b）株式会社松尾楽器商会からピアノ「スタインウェイ」1台を無償貸与

④ 多額寄附金の活用

Aloha Mimura 基金（兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産）

三村正之氏が兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動への支援を目的に寄附（平成 29 年度）いただいた 50,000 千円を原資に平成 29 年度から 5 年を目途に音楽事業活動に充当

（5） 中長期的取り組み

① 芸術文化センター運営委員会

センターの運営について、運営委員会を開催し、事業の中長期的企画、事業展開、施設運営全般に関して経営面など幅広い観点から検討・意見交換を行う。

【時 期】令和 6 年 1 月（予定）

【委 員】学識者、舞台芸術の専門家、マスコミ・経済界のリーダー、センター関係者等

② 次年度以降の事業計画づくり

多彩な舞台芸術を創造・発信していく芸術文化センター及び同管弦楽団の次年度以降の事業展開に向けて、芸術監督とともに長期的な計画づくりを進め、企画検討、事前調査、出演者等の交渉・調整、プランの作成、舞台の制作準備など、事業準備を行う。

5 駐車場等の運営（収益事業）

来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行う。

（時間貸） 収容台数 約 100 台

6 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・ レストランスペースの貸出
- ・ 関連グッズのショップ設置・運営

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（概要）〕

1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の進行を図るため、演劇、伝統芸能、音楽など優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場10事業(演劇4、落語5、関連事業1)を開催する。

- (1) 文学座公演「昭和虞美人草」(作:マキノノゾミ 演出:西川信廣 5.9.2(土)、3(日))
- (2) シアタースタート(乳幼児と家族向け) くわえ・パペットステージ「ぷっかり ぽっかり」(5.9.15(金))
- (3) 青年団プロデュース公演「馬留徳三郎の一日」
(第7回近松賞受賞作 作:高山さなえ 演出:平田オリザ 5.12.8(金)、9(土))
- (4) 桂米朝一門による「ピッコロ寄席」(5席)

2 ピッコロ劇団事業

県立ピッコロ劇団を運営し、多彩な舞台公演(本公演、ファミリー劇場、わくわくステージなど)を開催するとともに、視覚・聴覚障害者の劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを継続する。また、学校等での演劇指導等人材育成事業を展開する。

- (1) 第76回公演「やわらかい服を着て」(作:永井愛 演出:眞山直則 5.7.21(金)～25(火))
- (2) ファミリー劇場「森のなかの海賊船」～こそあどの森の物語～
(原作:岡田淳 演出:平井久美子 8月(大ホール)、12月(県立芸術文化センター 阪急中ホール))
- (3) 第77回公演「オリジナル新作(タイトル未定)」(5.9.30(土)～10.5日(木))
(演出=岩松 了(ピッコロ劇団代表)、出演=ピッコロ劇団員)
- (4) 第78回公演ピッコロシアタープロデュース「ロボット-RUR-」
(作:カレル・チャペック 演出:高橋正徳 6.2.23(金)～25(日) 県立芸術文化センター阪急中ホール)
- (5) わくわくステージ(5～6月、11～12月期)「森のなかの海賊船」～こそあどの森の物語～
(大ホール、赤穂市文化会館)

3 人材育成・体験活動事業

- (1) ピッコロ演劇学校(本科(40名)、研究科(20名))、舞台技術学校(30名)の運営
- (2) ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ
「文化セミナー」<102>「地域で創造する魅力」(仮) (5.8.29(火))
出演=平田オリザ(劇作家・演出家/兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長)、
岩松 了(劇作家・演出家・俳優/兵庫県立ピッコロ劇団代表)
「文化セミナーラボ」これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを3回開催する。
- (3) ピッコロ実技教室
「ちゃっと!狂言～入門編～」や「40歳からのワンコイン演劇講座」、「ピッコロオペラ教室」など伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図る。
- (4) ひょうごプレミアム芸術デーにおける交流イベント
7月12日(兵庫県発足の日)～7月15日の間、県民参加の舞台技術の体験やピッコロ劇団による「おはなし会」などを開催する。

4 施設の管理運営事業

徐々に劇場利用者数は回復してきている(R2年度29,120人→R5.1末65,096人)。引き続き、「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき、劇場内諸施設を提供するほか、鑑賞劇場、文化セミナー等自主事業を適切に実施する。

〔尼崎青少年創造劇場の管理・運営（詳細）〕

尼崎青少年創造劇場は、①地域における文化創造の芽を育む舞台芸術創造活動の場の提供、②「子どもと楽しむ落語会」等伝統芸術系の青少年・子ども向け事業の展開、③「県立ピッコロ劇団」による良質な演劇を通じた感動の提供、④ピッコロ劇団員による学校現場等における表現活動の普及、⑤「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の運営による人材育成、⑥演劇等舞台芸術関係資料の閲覧・提供等を通じた県民の自主的な文化活動の促進に、重点的に取り組むとともに、県民にとって安全・安心、快適な施設を目指して、親切かつ効率的な運営を心がける。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けて、感染拡大予防ガイドラインに基づき、ハード・ソフト両面での予防措置を講じるなど、適時的確な取組を行う。

1 ピッコロシアター鑑賞劇場

県民文化の高揚と地域文化の振興を図るため、演劇、伝統芸能、音楽などの優れた舞台芸術を紹介する鑑賞劇場を開催する。また、毎年恒例の子どもと大人が一緒に楽しめる落語会など、明日のひょうごを担う子どもたちに伝統ある舞台芸術にふれる機会を提供する。

令和5年4月～6年3月ラインナップ〔10事業（演劇4、落語5、関連事業1）〕

事業名	公演年月日	出演者等
ピッコロ寄席「桂ざこば一門会」 (大ホール)	5.5.13(土)	出演＝桂ざこば、桂塩鯛 ほか
劇団うりんこ「クローゼットQ」 (大ホール)	5.6.10(土)	構成・演出＝田辺 剛 出演＝劇団うりんこ
シアタースタート(9月)関連事業 「おもちゃの広場」 (中ホール)	5.7.29(土)	出演＝おもちゃコンサルタント 竹之下和美
ピッコロ寄席「桂枝雀一門会」 (大ホール)	5.8.12(土)	出演＝桂南光ほか
文学座公演「昭和虞美人草」 (大ホール)	5.9.2(土) 3(日)	作＝マキノノゾミ 演出＝西川信廣 出演＝上川路啓志、鹿野真央 ほか
シアタースタート くわえ・パペットステージ 「ぷっかり ぽっかり」 (中ホール)	5.9.15(金)	構成・演出＝つげくわえ
青年団プロデュース公演 「馬留徳三郎の一日」 (大ホール)	5.12.8(金) 9(土)	作＝高山さなえ 演出＝平田オリザ 出演＝田村勝彦、猪股俊明 ほか
ピッコロ寄席「桂吉朝一門会」 (大ホール)	5.12.16(土)	出演＝桂あさ吉、桂吉弥 ほか
ピッコロ寄席「桂米團治独演会」 (大ホール)	6.2.3(土)	出演＝桂米團治 ほか
ピッコロ寄席 「子どもと楽しむ落語会」 (大ホール)	5.3.9(土)	出演＝桂吉弥 ほか
合 計 10事業		

2 2023 ピッコロフェスティバル

開館記念日（8月19日）を中心に約1カ月にわたり、地域で創造活動に取り組む若者たちの演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供するとともに、鑑賞や体験等を通じた舞台芸術に親しむ機会とするため、県民の参加と協働による「ピッコロフェスティバル」を開催する。

【時 期】 令和5年7月29日（土）～8月27日（日）

【場 所】 ピッコロシアター・各ホール、閲覧室など

【事業内容（予定）】

区 分	内 容
県民参加企画	参加団体を公募して開催 ＊演劇：小・中・高校の部、大学・一般の部 (舞台施設・設備を無償提供)
地域団体連携企画	〈阪神間など地域の文化団体組織と連携〉 「人形劇フェスタ阪神」「バリアフリーコンサート」 〈高校演劇研究会阪神支部と連携〉 高校生向け演劇ワークショップを開催 (企画運営は団体、舞台施設・設備を無償提供)
体験企画	〈伝統芸能〉 大蔵流狂言方を講師に招いての「ちゃっと！狂言～入門編～」を開催 〈コミュニケーション力・表現力〉 新聞記事を題材にした「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ」 〈演劇〉 中高年を対象にした「40歳からのワンコイン演劇講座」 〈音楽〉 オペラの解説・リハーサル見学等の体験機会を提供する「オペラの楽しみ方」を開催(関西二期会オペラ研修所研修生によるオペラ公演を同時開催)
特別企画	〈ピッコロフェスティバルの期間中の開催〉 ピッコロ劇団ファミリー劇場公演「森のなかの海賊船」、ピッコロ寄席など
協賛企画	関係団体による演劇・ワークショップの開催

3 県立ピッコロ劇団事業

① ピッコロ劇団公演

優れた舞台芸術の創造と地域文化の振興を図るため、県立ピッコロ劇団を運営し、ピッコロシアターでの多彩な舞台公演（本公演、ファミリー劇場など劇場へのアクセシビリティを高める鑑賞サポートを継続）や学校等での演劇指導等人材育成事業を展開する。また、第2の活動拠点である県立芸術文化センター（西宮市）では12月にファミリー劇場公演を、2月には関西の演劇人との協働製作によるプロデュース公演を上演する。

劇団代表： 岩松 了 劇作家・演出家・俳優

（第33回岸田國士戯曲賞、第28回紀伊國屋演劇賞個人賞、
第49回読売文学賞、第21回鶴屋南北戯曲賞、平成30年度兵庫県文化賞を受賞）

客 員： 鶴山 仁（演出家＝前新国立劇場演劇芸術監督・文学座）

喜志 哲雄（演劇評論家・京都大学名誉教授）

杉本 了三（演劇プロデューサー）

内藤 裕敬（劇作家・演出家・俳優＝南河内万歳一座）

劇 団 員： 35名（男19名 女16名）（令和5年2月末現在）

ピッコロ劇団公演ラインナップ

※はピッコロ劇団員

事業名	公演年月日	出演者等
オフシアターVol.39 「バックネット委員会」 (中ホール)	5. 4. 7(金) ～9(日) (5公演)	作＝伊地知克介 演出＝岡田 力(※) 出演＝ピッコロ劇団員
第76回公演 「やわらかい服を着て」 (大ホール)	5. 7. 21(金) ～25(火) (6公演)	作＝永井 愛 演出＝眞山直則(※) 出演＝ピッコロ劇団員
わくわくステージ(5～6月期) 「森のなかの海賊船」 ～こそあどの森の物語～ (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	5. 5.24(水) ～6. 2(金) (9公演)	原作＝岡田 淳(理論社刊) 台本＝秋浜悟史 潤色・演出＝平井久美子(※) 出演＝ピッコロ劇団員
わくわくステージ 市町ホール公演 「森のなかの海賊船」 ～こそあどの森の物語～ (ファミリー劇場と同演目) (赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール 大ホール)	5. 6. 9(金) (2公演)	
ファミリー劇場 「森のなかの海賊船」 ～こそあどの森の物語～ (大ホール)	5. 8. 5(土) ～6(日) (4公演)	
わくわくステージ(11～12月期) 「森のなかの海賊船」 ～こそあどの森の物語～ (ファミリー劇場と同演目) (大ホール)	5.11.24(金) ～12.1(金) (調整中)	
ファミリー劇場 「森のなかの海賊船」 ～こそあどの森の物語～ (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	5.12. 23(土) ～24(日) (3公演)	12月公演 オーディションによる子ども達 が出演予定
第77回公演 「タイトル未定」 (大ホール)	5.9.30(土) ～10.5日(木) (6公演)	
おでかけステージ(小学校公演) 「タラレバ幽霊とタカラの山」 (小学校体育館等)	5.10～11月 県内の小学校 等での上演	台本＝谷口雅美/原 竹志(※) 演出＝原 竹志(※) 出演＝ピッコロ劇団員
第78回公演 ピッコロシアタープロデュース 「ロボット-RUR-」 (県立芸術文化センター 阪急 中ホール)	6.2.23(金) ～25(日) (5公演)	作＝カレル・チャペック 翻訳＝田才益夫 演出＝高橋正徳(文学座) 出演＝ピッコロ劇団員ほか オーディションにより関西俳優陣 が出演予定
合 計10事業 【本公演3本、ファミリー劇場2本、オフシアター、わくわくステージ、同市町公演、おでかけステージ】		

(注)「わくわくステージ」：ピッコロ劇団による中学生向け演劇鑑賞体験事業

(参考) 鑑賞サポートの取組

ファミリー劇場・わくわくステージなどにおいて、ピッコロ劇団員の参画のもとに、多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポートの取組を継続して進めていく。

《取組例》

- ・視覚障害のある方向けに音声ガイド付き公演
(R5：わくわくステージ(5～6月期)、ファミリー劇場(8月)で実施予定)
- ・聴覚障害のある方向けに公演の音声情報を字幕表示 (タブレット配布又は舞台上で表示)

(R5：わくわくステージ(11～12月期)、ファミリー劇場(12月)で実施予定)

- ・バックステージ解説での手話通訳
- ・視覚障害のある方に事前に舞台の立体図(触図)に触れてもらう
- ・公演台本・ヒアリンググループ・骨伝導補聴器の貸出
- ・受付での手話通訳、筆談対応 等

② 演劇指導(演劇ワークショップ)など

ピッコロ演劇学校(本科・研究科)、県立宝塚北高校(演劇科)をはじめとした大学、高校等、県立教育研修所、兵庫県自治研修所等へ劇団員を指導者として派遣するとともに、演劇の裾野の拡大をめざし、演劇・創作活動を身近に感じてもらうため、県内各地でワークショップ等を開催する。小学校などでは演劇ワークショップ「あつまれ!ピッコロひろば」を実施する。併せて、特別支援学校生徒や日本語に不慣れな外国人などへの社会包摂活動につながる演劇ワークショップなどの取組も継続して進めていく。

③ 外部出演

他劇団、放送局等の依頼を受けて、演劇公演、映画、放送等に出演。

④ ピッコロサポートクラブへの支援

ピッコロ劇団の活動を地域全体で支援するため、平成8年に尼崎商工会議所等が中心となって設立された後援会組織である「ピッコロサポートクラブ」の活動を支援するとともに、情報誌「i n t o」を共同発行する。

(参考1) ピッコロサポートクラブ会員 349 名(令和5年1月末現在)

種類	年会費
法人会員(企業・団体向)	20,000 円
個人会員(特別会員)	10,000 円
個人会員(A会員)	6,000 円
個人会員(B会員)	2,000 円
個人会員(J会員高校生以下)	4,000 円

〔特典〕

- ・ピッコロ劇団公演への招待または入場料割引、先行予約
- ・情報誌「i n t o」、稽古場見学会や劇団員との茶話会等の催し物案内の送付
- ・演劇、落語会等ピッコロシアター自主事業の入場料割引、先行予約等

(参考2) 情報誌「i n t o」の発行

ピッコロ劇団公演の紹介をはじめ、劇団員の活動、ピッコロシアターでの催し物等の情報を提供する。

* A5版/20ページ(カラー印刷)/年4回/各3,000～4,000部

4 人材育成・体験活動事業

① ピッコロ演劇学校の運営

地域文化を高める演劇創造に参加しようとする若者たちに、夢を与え、表現力や創造力、コミュニケーション力を身につけさせることで、人間性豊かな人材を育成する。

【期 間】 令和5年4月～6年3月

【場 所】 ピッコロシアター

【授 業】 原則として毎週2回(火・木の夜間)と年数回の特別講義

特別講師：岩松 了、平田 オリザ、鐘下 辰男など

【募集人数】 本科40名、研究科20名

【上演実習】 (本科) 前期発表会、卒業公演[舞台技術学校と合同製作]

(研究科) 前期発表会、卒業公演

② ピッコロ舞台技術学校の運営

クリエイティブな地域文化のステージづくりと文化施設の活性化のため、舞台芸術を支える美術、照明、音響の舞台技術人材を育成する。

- 【期 間】 令和5年4月～6年3月
 【場 所】 ピッコロシアター、芸術文化センター（学外授業）
 【授 業】 原則として毎週2回（水・金の夜間）と年数回の特別講義
 特別講師：服部 基、山北 史郎、堀尾 幸男
 【募集人数】 美術、照明、音響 計30名
 【上演実習】 クラシックコンサート実習、軽音楽ライブ実習、
 卒業公演[演劇学校本科と合同製作]

③ ピッコロ・山根演劇賞の贈呈

ピッコロ演劇学校生及びピッコロ舞台技術学校生のうち成績優秀で他の模範となった者や、ピッコロ劇団員のうち優れた演劇活動を行った者など、優れた演劇活動を行った者に「ピッコロ・山根演劇賞」を贈呈する。（時期：令和6年3月）

④ ピッコロシアター文化セミナー&文化セミナーラボ

〔文化セミナー〕

著名な舞台人による講演、専門家による伝統芸術の紹介・解説などの教養講座を開催し、舞台芸術への関心を高め、地域文化の振興を図る。（ピッコロシアター大ホール）

事 業 名	期 日	出演者等
<102>「地域で創造する魅力」(仮) 平田オリザ・岩松 了 (調整中)	5. 8. 29(火)	出演＝平田オリザ(劇作家・演出家/兵庫県立芸術文化観光専門職大学学長)、 岩松 了(劇作家・演出家・俳優/兵庫県立ピッコロ劇団代表)

〔文化セミナーラボ〕

従来の文化セミナーに加え、これまでピッコロシアターに馴染みのなかった層にも理解者・ファンを広げるため、舞台芸術の周辺での興味深いテーマを扱う、小規模の実験的なセミナーを開催する。

- 【実施回数等】 年3回（小ホール・閲覧スペースほかで実施）
 【講師】 研究者、まちづくりプロデューサー、新聞記者等

⑤ ピッコロ実技教室

伝統芸能や演劇等の体験的学習、解説をまじえた実技教室を開催し、舞台芸術への関心を高め将来の鑑賞者の育成を図る。

いずれも、2023 ピッコロフェスティバルの期間中に「体験企画」として実施。

事 業 名	期 日	出演者(指導者)等
40歳からのワンコイン演劇講座	5.8.6(日)	講師：瀬口昌生(大手前大准教授)
まわしよみ新聞&演劇ワークショップ<壁新聞を演じてみよう>	5.8.9(水)	講師：陸奥賢(まわしよみ新聞考案者)、ピッコロ劇団員
ちゃっと！狂言～入門編～	5.8.19(土) 20(日)	講師：大蔵流狂言方 善竹隆司・善竹隆平
令和の演劇向上委員会	5.8.22(火)	講師：兵庫県高等学校演劇研究会 阪神支部加盟の教諭(演劇部顧問)ほか
オペラの普及をめざして 関西二期会オペラ研修所と連携 「ピッコロオペラ教室」 「第59期生による修了オペラ」 (演目は調整中)	オペラの楽しみ方 5.8.25(金)	講師：関西二期会理事
	オペラ公演 5.8.26(土)	関西二期会オペラ研修所 第59期生 ほか

⑥ 研修生等の受け入れ

開かれた劇場として、トライやる・ウィーク、インターンシップをはじめとした研修生（中・高・大学生等）を年間通して内外から受け入れる。

また、県立芸術文化観光専門職大学（豊岡）から大学生を実習先として受け入れる。（令和4年度は2年生を受け入れし、今後、順次3・4年生を受入予定）

⑦ ピッコロ動画配信～コロナ禍から始まった取組～

ピッコロシアターとピッコロ劇団の事業・公演について、より幅広い客層に関心を持ってもらい、実際に足を運んでもらえるよう、SNSやホームページ等を通じて、劇団員によるPR動画などのコンテンツ配信などに取り組む。

⑧ ひょうごプレミアム芸術デーにおける交流イベントの開催

7月12日（兵庫県発足の日）を中心とした1週間、県立芸術文化施設において芸術関連のイベントが開催されることに合わせて、ピッコロシアターにおいても県民参加の舞台技術の体験やピッコロ劇団による「おはなし会」などを開催する。

5 施設の管理運営事業

① 兵庫県立尼崎青少年創造劇場の施設管理

青少年の演劇、音楽、舞踊等の創造活動を促進するとともに、広く県民文化の高揚を図るため設置された「県立尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）」の指定管理者として、演劇、音楽、舞踊等の舞台芸術の練習・発表の場である劇場内諸施設を提供するほか、鑑賞劇場、文化セミナー等自主事業を適切に実施する。

【所在地】 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

【施設】 ・大ホール（客席数396席） ・中ホール（収容200人）
・小ホール（収容100人） ・楽屋（6室） ・練習室（3室）
・資料室（閲覧スペース・書庫） ・舞台美術工房 等

（参考）近年実施した主な施設改修

《R4年度》

- ・大ホール客席誘導灯修繕工事
- ・大ホールワイヤレスマイク設備更新
- ・中ホールスピーカー更新工事
- ・中小ホール搬入口重量シャッターの修理
- ・外部2階エントランス等防水工事

《H29～R3年度》

- ・動画配信のためのWi-Fi整備（各ホール・楽屋・練習室・閲覧室及び別館稽古場）（R3）
- ・ホールのロスナイ（換気システム）の改修（R3）
- ・別館稽古場への換気設備改修（R2）
- ・大ホールホワイエに障害者等対応エレベーターを設置（R2）
- ・展示室を劇場利用者同士の交流が図れる閲覧スペース等に改装、書庫を整備（R1-2）
- ・ホール天井照明のLED化、練習室の防音換気機能向上（R1-2）
- ・小道具等が製作できる舞台美術工房を大ホールB1階に整備（R1）
- ・トイレの完全洋式化、おむつ交換台、授乳室の設置（H29-R1）

② 情報の提供

（ア）演劇等舞台芸術関係資料の提供（蔵書数約32,000冊※）

青少年などの幅広い創造活動を支援するため、資料室において、演劇・音楽・舞踊などの舞台芸術専門書等の閲覧・貸出を行い、照会にも迅速に対応する。

※ 令和2年度にピッコロ劇団初代代表、故・秋浜悟史氏のご遺族からの寄贈蔵書約5,500冊を「秋浜文庫」として受け入れ、書籍の充実を図った。

(イ) ピッコロ・ホームページの運営

より見やすく分かりやすいレイアウトとなるよう工夫するとともに、スマートフォンからのアクセスの改良などを継続し、今後とも情報発信力の充実を図る。

※ URL <https://piccolo-theater.jp>

- ・ 主催事業（公演や募集情報等）がよりタイムリーに伝わるようビジュアルを工夫
- ・ 『今日の劇場』を、貸館情報も含め日々の劇場の動きが分かるレイアウトに更新
- ・ スマートフォン、タブレット端末等にも対応するレイアウトにしてPR効果を向上
- ・ フェイスブック、ツイッターを活用したSNSにより発信

(内容) * 公演&参加する 公演・募集情報、月間スケジュール 等
* 劇場を知る&使う フロアガイド、利用案内、空き状況 等
* ピッコロ劇団 劇団員プロフィール、上演記録 等
* ピッコロ演劇学校&ピッコロ舞台技術学校 学校案内、学校Q&A 等

(ウ) 芸術文化情報コーナーの運営

劇場内2カ所に県内外の芸術文化公演や劇場・劇団の等のチラシ、パンフレットを見やすく配置し、来場者へ多くの芸術文化情報を提供する。

6 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

喫茶スペースの貸出

〔本部の事業（概要）〕

芸術文化の普及・啓発

1 主催事業

（１）芸術文化活動の表彰事業

将来の活躍が期待される優れた音楽家を対象とする「坂井時忠音楽賞」、功績のあった女性洋画家を対象とする「亀高文子記念一赤艸社賞」、地域の伝統文化の継承等に貢献した者・団体を対象とする「ふるさと文化賞」などの表彰事業を実施し、県の芸術文化の高揚を図る。

（２）コンクール、展示事業

広く県民を対象とした「兵庫ふれあい美術展」を開催するなど、県民の創作活動を後押しするとともに、世代や分野を超えた人々の交流の場づくりを進める。県民アートギャラリー等において、新進美術家による「作品展」を開催し、発表の機会と一般県民が気軽に鑑賞できる場を提供する。

（３）主催公演事業

小学校・高校や公立文化施設において「県民芸術劇場」を実施し、学生や一般県民が優れた舞台芸術を身近で鑑賞するとともに、県内芸術団体等が活動する機会を提供する。県民会館においてロビーコンサート、リサイタルを開催するなど、新進・若手芸術の発表の機会と一般県民が気軽に鑑賞できる場を提供する。

（４）講座・体験等事業

県民の高い学習意欲に応えるため「兵庫県生活文化大学」を開催し、年間を通じて歴史、美術、音楽等の多彩な分野の講座を実施するほか、県立美術館、博物館等と連携した短期講座を実施する。子どもをはじめ幅広い層の県民が伝統文化を体験できる「伝統文化ふれあい広場」や「伝統文化体験教室」を実施する。

2 芸術文化団体等との連携事業

様々なジャンルの県域芸術文化団体や市町等と連携・協力し、「ふれあい文化の祭典―県民文化普及事業」を展開し、イベント等を通じて県下に芸術文化のすそ野を拡げていく。7地域の地域文化団体で構成される兵庫県地域文化団体協議会と連携し、地域文化の向上・振興を図る。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

「ひょうごアーティストサロン」を県民会館に置き、芸術文化関係者の交流・連携相談や情報発信等の機能を担わせる。新進・若手の芸術家を対象とした美術作品展、ロビーコンサート、リサイタルの開催、アーティストサロン賞の贈呈などにより活動を支援する。

4 情報の提供

協会の各施設や関係文化施設、芸術文化団体等の情報を掲載した情報紙「すずかけ」を毎月発行する。ホームページや各種 SNS による発信、YouTube チャンネルでの県内芸術家・団体の活動等の動画配信などを行い、広く一般県民の芸術文化への関心を高め、参加を促す。

〔本部の事業（詳細）〕

芸術文化協会本部では、協会全体の総合調整を行うとともに、芸術文化の普及啓発を推進し、県民文化・地域文化の向上を図るため、①主催事業（表彰、コンクール・展示、コンサート・リサイタル、講座・体験等）、②芸術文化団体等との連携（ふれあい文化の祭典、地域文化団体との協力等）、③ひょうごアーティストサロンの運営、④情報提供の分野において各種事業を展開する。

事業の実施に当たっては、ニーズ等を踏まえたより魅力ある内容となるよう充実に努めるとともに、厳しい財政環境にあることから、事務の改善、寄附金等の活用を引き続き図っていく。また、新型コロナウイルス感染症については、対処方針等を踏まえながら適宜適切な対策を講じていく。

1 主催事業

（１） 芸術文化活動の表彰事業

① 第４２回ふるさと文化賞の贈呈

地域において永年にわたり、伝統文化の継承、ふるさと文化の高揚に多大な貢献をされた個人、団体を顕彰するため、「ふるさと文化賞」を贈る。

【件数】 ３件以内

② 亀高文子記念^{せきそうしゃ}赤艸社賞の贈呈

絵画の創作を通じて、県民文化の高揚に功績のあった女性洋画家を顕彰する「亀高文子記念－赤艸社賞」を贈る。

【件数】 ２件以内

【副賞】 ２０万円

③ 坂井時忠音楽賞の贈呈

県内における音楽活動に優れた業績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される音楽家を顕彰する「坂井時忠音楽賞」を贈る。

【件数】 ２件以内

【副賞】 ３０万円

④ ひょうごアーティストサロン賞の贈呈

ひょうごアーティストサロンの事業に積極的に参加し、将来一層の活躍が期待される新進・若手芸術家等を顕彰するため「ひょうごアーティストサロン賞」を贈る。

【件数】 ３件以内

（２） コンクール、展示事業

① 第３５回全国手工芸コンクール in ひょうご

ふだんの生活から創りだされた、ぬくもりのある手工芸作品を全国から募集し、優秀作品を表彰する。

【会期】 令和５年１１月２４日（金）～２６日（日）

【会場】 兵庫県民アートギャラリー

② 第２９回兵庫ふれあい美術展

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・鈴懸の径絵画部門の作品を公募し、優秀作品を表彰する。

【会期】 令和５年１２月２２日（金）～２４日（日）

【会場】 原田の森ギャラリー

③ 第６１回 ２０２３県展

絵画、彫刻・立体、工芸、書、写真、デザインを公募し、優秀作品を表彰する。

【会期】 令和５年８月５日（土）～１９日（土）

- 【会 場】 原田の森ギャラリー
 【共 催】 兵庫県・兵庫県立美術館・神戸新聞社

④ 新進美術家作品展（アーティストサロン事業）

県内各美術団体の協力を得て、芸術文化コーディネーターのもと、新進作家を中心とした作品展を開催する。

- ・ひょうごアーティストサロン内ギャラリー

作 品 展	開催時期（２ヶ月程度）
兵庫二紀会選抜展	４月～５月
兵庫県写真作家協会新進作家選抜展	６月～７月
兵庫県美術家同盟新進作家展	８月～９月
兵庫の工芸壁面を飾る	１０月～１１月
兵庫県書作家協会選抜展	１２月～１月
兵庫県日本画家連盟新進作家展	２月～３月

- ・県民アートギャラリー特別展示室

作 品 展	開催回数等
新進美術作家作品展（工芸、日本画）	年２回（各５日間）

- ・県民アートギャラリー大・中展示室

作 品 展	開催時期
選抜作家展—兵庫県美術作家交流展—	１２月（５日間）

（３） 主催公演事業

① 県民芸術劇場

小学生・高校生、一般県民が優れた舞台芸術を身近に鑑賞し、県内芸術団体等が活動する機会として県民芸術劇場を開催する。

【時 期】 通年

種別	開催場所	公演数（前年度）	公演内容
一般公演	市町文化会館等	14(5)	オーケストラ、室内楽、声楽、打楽器、演劇、ミュージカル、人形浄瑠璃、能楽、落語等
学校公演	小学校 高等学校等	60(51)	
合計		74(56)	

② 県民会館ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

兵庫県民会館のロビーを活用した新進・若手アーティストのコンサートを開催する。

【時 期】 原則毎月第２土曜日

【会 場】 兵庫県民会館１階ロビー

③ 県内芸術家ロビーコンサート（アーティストサロン事業）

県・市町の文化施設等における新進芸術家等によるロビーコンサートを実施し、発表と鑑賞の機会を創出する。

【回 数】 ２０公演程度

【会 場】 県市町文化施設

④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイクルシリーズ（アーティストサロン事業）

兵庫県出身、在住、在勤、在学で芸術文化活動をする概ね４５歳未満の個人及び団体で、今後の活躍が期待される新進芸術家に発表の場を提供する。

また、兵庫県いけばな協会の協力により、会場にいけばなを飾り、伝統文化の紹介に資する。

【回 数】 年7回程度

【会 場】 兵庫県民会館けんみんホール

(4) 講座・体験等事業

① 兵庫県生活文化大学

日々の暮らしに喜び、感動を求め、歴史や文化に深い関心を寄せる県民の学習意欲に応えるため、多彩な講座で構成する兵庫県生活文化大学を開催する。

講 座 名			開催地・会場	期間・回数
通 年	神 戸 校	文化財 (県立美術館「芸術の館友の会」)	神戸市 兵庫県民会館	4～2月 10回
		考古学 (県立考古博物館)		4～2月 10回
		日本美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)		4～2月 10回
		西洋美術 (県立美術館「芸術の館友の会」)		4～2月 10回
		ふるさとの歴史 (県立歴史博物館 ひょうご歴史研究室)		4～2月 10回
		音楽鑑賞 (兵庫県音楽活動推進会議)		5～3月 10回
通 年	明 石 校	ふるさとの歴史 (明石市) (県立歴史博物館)	明石市 明石市生涯学習センター	4～2月 10回
	姫 路 校	ふるさとの歴史 (県立歴史博物館)	姫路市 県立歴史博物館	4～2月 10回
短期		展覧会特別鑑賞講座(3) 伝統芸能講座 湊川隧道特別見学会	神戸市・西宮市 県立美術館 芸術文化センター 湊川隧道	4～2月 5回
合 計 13 講座				85回

② 風土と文化の歴史学講座

田辺真人 園田学園女子大学名誉教授を講師に迎え、様々な風土から育まれた多様な文化を歴史的に考察する。

【時 期】 令和5年8月頃～令和5年10月(全3回)

【会 場】 兵庫県民会館けんみんホール

③ 伝統文化ふれあい広場

誰もが気軽に様々な伝統文化を一度に「する」「みる」ことができる機会を提供し、伝統文化の裾野の拡大を目指す。

【時 期】 令和6年3月2日(土)～3日(日)(予定)

【会 場】 兵庫県公館

【内 容】 民謡、邦楽、日本舞踊、能楽、いけばな、茶道、書道、工芸等の体験や実演鑑賞等

④ 伝統文化体験教室

伝統文化をより深く体験できるよう県公館和風会議室を利用した体験教室を開催する。

【時 期】 令和5年4月～9月

- 【会 場】 兵庫県公館 和風会議室、兵庫県民会館等
 【内 容】 能楽、日本舞踊、須磨琴、箏

⑤ 友の会事業の推進

芸術文化を愛し、こころ豊かな生活文化を育む人々が、芸術文化に関する学習や交流事業を通じて、生きがいきつくりと会員相互の交流を図るため、友の会事業を推進する。また、会員数の拡大や会員特典施設の増加・充実等に取り組む。

- 【名 称】 兵庫県芸術文化協会友の会
 【種 類】 個人会員 (会費: 3,000 円)
 ファミリー会員 (同一世帯・2人まで) (会費: 5,000 円)
 団体会員 (会費: 10,000 円)
 【特 典】 ・文化情報紙「すずかけ」の送付 (毎月)
 ・生活文化大学の受講料等割引
 ・美術館・博物館等の入館料割引
 ・提携劇場指定公演チケットの割引など

2 芸術文化団体等との連携事業

*…その他 (芸術文化団体との連携事業) に区分される事業

(1) 兵庫県地域文化団体協議会への支援

県内7地域の文化団体協議会等と協会で組織する兵庫県地域文化団体協議会の事務局を運営し、情報や課題の共有、共同事業の実施など地域文化の活性化を図る。

① 地域文化団体との共同事業 *

県内7地域の文化団体協議会等と協力し、地域伝統文化事業をはじめ、各地の自主的な芸術文化事業を開催する。

【対 象】 地域文化団体7団体

【内 容】

阪神南文化振興団体連絡協議会…「尼崎文化団体協議会主催 市民向けワークショップ」の開催

阪神北文化振興団体連絡協議会…「阪神北文化交流会」の開催

東播磨文化団体連合会……………東播磨文芸誌「東はりま文化子午線」第47号の発行

西播磨文化協会連絡協議会……………「西播磨地域ふれあい文化交流会」の開催

但馬文化協会……………但馬文学のつどい「たじま作品集～短詩型文学～」第48集の発行

丹波文化団体協議会……………「丹波地域文化フェスティバル」の開催

淡路文化団体連絡協議会……………「淡路文化の祭り」の開催

② 地域文化を考えるシンポジウム

県内市・町文化協会長等が一堂に会し、シンポジウムを通じて地域の文化活動を語りあい、芸術文化情報の交換と連携の輪を広げ、地域文化の活性化と県民文化の向上を図る。

【時 期】 令和5年11月16日 (木)

【会 場】 赤穂市文化会館 赤穂化成ハーモニーホール

【テーマ】 調整中

(2) 県民文化普及事業 ふれあい文化の祭典 *

芸術文化団体が、市町及び兵庫県の協力を得て「令和5年度県民文化普及事業—ふれあい文化の祭典」(24事業)として実施するイベント等について、事務調整、広報、観客誘致等を担当し、協力・支援する。

No.	事 業 名	関係文化団体	会場 (市町)
1	ひょうご演劇祭	兵庫県劇団協議会	豊岡市

No.	事業名	関係文化団体	会場（市町）
2	ひょうご邦楽の祭典	兵庫県箏絃連盟	西宮市
3	ひょうご吟剣詩舞道祭	兵庫県吟詠連盟、 兵庫県吟剣詩舞道総連盟	西宮市
4	和太鼓フェスティバル in 兵庫	兵庫県太鼓連盟	調整中
5	アンサンブル・フェスティバル兵庫	兵庫県音楽活動推進会議	西宮市
6	音楽とダンスの祭典 in Hyogo	兵庫県ダンススポーツ連盟	神戸市
7	ひょうごブラスフェスティバル	兵庫県吹奏楽連盟	川西市
8	詩のフェスタ ひょうご	兵庫県現代詩協会	神戸市
9	ひょうご名流舞踊の会	兵庫県舞踊文化協会	神戸市
10	ひょうご洋舞フェスティバル	兵庫県洋舞家協会	西宮市
11	ひょうご大茶会	兵庫県茶道協会	神戸市
12	ひょうご日本民謡フェスティバル	日本民謡民舞兵庫県連合会	神戸市
13	全国手工芸コンクール in ひょうご	兵庫県婦人手工芸協会	神戸市
14	兵庫県いけばな展（神戸展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	神戸市
15	兵庫県いけばな展（地域展）	兵庫県いけばな協会、 兵庫県いけばな芸術文化振興会議	姫路市
16	兵庫県交響楽祭	兵庫県オーケストラ協議会	西宮市
17	兵庫県川柳祭	兵庫県川柳協会	神戸市
18	兵庫短歌祭	兵庫県歌人クラブ	神戸市
19	兵庫ふれあい美術展	（公財）兵庫県芸術文化協会	神戸市
20	ひょうご民俗芸能祭	兵庫県伝承民俗芸能文化協会	太子町
21	阪神北文化フェスティバル	阪神北文化振興団体連絡協議会	調整中
22	東播磨文化フェスティバル	東播磨文化団体連合会	加東市
23	西播磨文化フェスティバル	西播磨文化協会連絡協議会	たつの市
24	丹波文化フェスティバル	丹波文化団体協議会	丹波市

（３）市町ホール活用支援事業

市町ホールの活性化、人材育成、県内公立文化施設間の連携強化を図るため、県内２市町の公立文化施設（市町ホール等）が、音楽や演劇等の大型自主公演を共同で企画する同一内容の自主公演事業を支援する。

【採択件数】 ３件（６公演）程度

【対象経費】 公演料

【助成額】 １公演あたり 200 万円上限（負担割合 県：施設①：施設②＝１：１：１）

（４）舞台芸術鑑賞機会創出事業

県内の文化施設において、音楽・演劇等の有料公演を行う際に一定数を学生向けに無料で開放し、コロナ社会で減少した子どもの舞台鑑賞機会や県内アーティストの活動機会を創出する舞台公演を支援する。

【採択件数】 ３０公演程度

【対象経費】 公演料

【助成額】 １公演あたり 500 千円上限

(5) 芸術文化団体等の事業への支援

県内で開催される文化振興に寄与する事業を支援するとともに、優秀作品に兵庫県芸術文化協会賞を贈る。

【後援名義】 年間約250団体

(6) 兵庫県文化賞受賞者懇話会への支援

兵庫県文化賞受賞者で構成される、兵庫県文化賞受賞者懇話会の事務局運営等の支援を通じて、芸術文化の振興を図る。

3 ひょうごアーティストサロンによる県内アーティストへの支援事業

ひょうごアーティストサロンに芸術文化コーディネーターを置いて、新進・若手アーティスト等に対する相談・助言や、発表の機会と場の提供などをより積極的に行うことにより、新進・若手アーティストの育成支援と地域における芸術文化活動のさらなる活性化を図る。

また、新進・若手アーティストの育成支援を図るために、様々な機会を通じた募金活動に継続的に取り組む。

(1) 芸術文化関係者の交流・連携の促進

様々な分野の芸術文化関係者がアーティストサロンに集い、出会い、語らいの場として利用されることにより、交流拠点としてのサロン機能を発揮する。

(2) 相談・助言・斡旋事業の実施

芸術文化情報の収集・発信を通して蓄積した人材情報等に基づき、初心者から若手、中堅を問わず芸術文化活動に関する様々な相談に応じる。

また、県・市町および関係団体が主催するシンポジウム・セミナー・各種大会において、これらの事業に花を添えるような形で、県内のアーティストに参画していただく「ひょうごさわやかステージ」と冠したミニコンサートやミニ展覧会を斡旋することで、県民により多くの芸術文化に触れる機会を提供する。

(3) 新進・若手アーティストの育成・支援

- ① 新進美術家作品展（再掲）
- ② 県民会館ロビーコンサート（再掲）
- ③ 県内芸術家ロビーコンサート（再掲）
- ④ 新進芸術家育成プロジェクト・リサイクルシリーズ（再掲）

4 情報の提供

(1) 文化情報紙「すずかけ」の発行

協会の文化情報紙「すずかけ」を発行し、芸術文化への関心を高め、参加を促す。

【内 容】 芸術文化協会の事業紹介、文化関係者の活動紹介、県内のイベント情報等

【発 行】 毎月1回／5,000部

【配布先】 文化会館、美術館、博物館等の文化施設、市町文化担当課、友の会会員ほか

(2) 文化情報の場の提供

ひょうごアーティストサロンに隣接する兵庫県民会館1F特別展示室を活用し、協会事業の紹介や、県内の芸術文化活動などの情報発信を強化する。

(3) 文化情報の提供

兵庫県民会館に文化情報紙、県内施設等の催物案内チラシなどを配架し、多彩な文化情報を提供する。

(4) ホームページの運営

協会概要や本部の情報提供のみならず、芸術文化センター、ピッコロシアター、県民会館、原田の森ギャラリー、横尾忠則現代美術館の各ホームページにリンクし、各施設の公演、展覧会事業等を幅広く紹介することにより、施設、事業のPRとともに文化情報の蓄積・発信・共有を促進する。

(公財)兵庫県芸術文化協会 (<https://hyogo-arts.or.jp>)

【内 容】・協会の概要

- ・協会主催事業等の案内
- ・管理施設の案内

(5) その他多面的な広報活動

① SNSの運営

YouTube チャンネルで動画配信をするほか、Twitter、Facebook、Instagram を活用して、情報発信を強化する。

② マスメディアによる情報提供の強化

テレビ、ラジオ、新聞等への記者発表、資料配布など

③ 県広報媒体の活用

兵庫県広報紙「県民だよりひょうご」、サンテレビ県民情報番組「ひょうご発信！」兵庫県広報戦略課 Facebook「はばタンなび」等

④ 県内文化施設等多様なチャンネルを活用した情報提供

兵庫県生活文化大学で共催している県立美術館、県立歴史博物館、県立考古博物館等の施設と連携してPRを行うほか、県内の文化施設や図書館、各教育機関を通じて情報発信を行う。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（概要）〕

1 原田の森ギャラリーの運営

（1）貸しギャラリーの適正な運営

地域のプロ・アマチュア芸術家、芸術文化団体の作品発表の場として、また、県民がさまざまな芸術文化に触れ、交流する場となるよう、ギャラリー運営会議の助言を得ながら、ギャラリーの適正で、効率的な運営を図る。

（2）ギャラリーの利便性向上

ギャラリー利用者の利便性向上に向け、デジタルサイネージによるイベント情報・館内案内に続き、予約システムを新たに導入し、空き情報の確認、利用申込等の手続きの効率化を図る。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

（1）横尾作品を中心とした展覧会運営

横尾氏の小説世界を視覚化する実験的な展覧会やライフワーク「Y字路」シリーズなど、横尾作品の魅力を紹介する3つの展覧会を実施する。

- ① 横尾忠則 原郷の森 / 令和5年5月27日～8月27日（80日間）
- ② Yokoo in Wonderland ー横尾忠則の不思議の国 / 9月16日～12月24日（86日間）
- ③ 横尾忠則 Yーイ（ワイ）★Y字路 / 令和6年1月27日～5月6日（88日間）

また、展覧会をより楽しめるよう、期間中に実施するギャラリートーク動画のユーチューブ発信や1F オープンスタジオでの放映なども行う。

（2）アーカイブ資料の整理・公開

横尾氏が所蔵し、当館に受け入れているイラスト、デザイン原稿、書籍等を整理し、展覧会に活用するとともに、順次「アーカイブ資料リスト」として公開し、横尾芸術の研究等に活用する。（令和4年1月末現在 3,775点）

（3）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民が気軽に芸術文化に触れる機会として、県が実施する「ひょうごプレミアム芸術デー」の一環として、次の取組を実施する。

- ① 無料開放 7月11日～17日（7日間）
- ② ユニバーサルデー（仮称）の設定
無料開放の期間中に、障がい者や子育て世代が気兼ねなく鑑賞できる日を設定
- ③ スペシャルライブの開催（横尾氏ゆかりの音楽家を起用予定）

（4）情報発信の強化・充実

横尾作品は世界的にも評価が高いことから、2025 大阪関西万博に向けて海外からの誘客を促進するため、ホームページの多言語化や展覧会図録の英語併記など、国際広報の充実に努める。

〔県立美術館王子分館の管理・運営（詳細）〕

兵庫県立美術館王子分館の指定管理者として、横尾忠則現代美術館での展覧会、公開制作やコンサートなど各種催しを開催し、芸術文化に関する情報発信を行うとともに、原田の森ギャラリーでは、地域のプロ・アマチュア芸術家や県内芸術文化団体の発表の場としての役割を果たせるよう管理・運営に努める。

【所在地】 神戸市灘区原田通3丁目8番30号

【施設】 〈原田の森ギャラリー〉 本館（1・2階展示室、収蔵庫）
東館（1・2階展示室、収蔵庫地下1階・地下2階）
会議室（2室）、講義室等（3室）
〈横尾忠則現代美術館〉 展示室（2・3階）、
アーカイブルーム、コレクションギャラリー、
展望施設（4階）、
オープンスタジオ、ミュージアムショップ、
インフォメーション（1階）、
収蔵庫（地下1階）
〈喫茶棟〉
〈附属駐車場〉 31台（時間貸し）

1 原田の森ギャラリーの管理・運営

（1）貸しギャラリー等の実施

当施設は、公立美術館としては全国最大規模のギャラリーを有している。明るく開放的かつ快適な空間の展示室が利用者から好評を得、高い利用率を保っている。

ホームページやSNS媒体等による広報を行い、絵画教室に加え、コンサート等多様な創作・発表活動の場の提供を行う。

また、施設予約システムの新たな導入により、申請手続きの簡略化、デジタルサイネージによるイベント情報等を配信し、利用者の利便性を図る。

引き続き新型コロナウイルス感染症への対策を徹底しながら、ギャラリーのより一層の魅力アップに努める。

（2）ギャラリー運営会議の実施

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、利用団体代表者を含む運営委員からの助言・提言を得るギャラリー運営会議を実施する。

（3）情報の提供・広報

① ホームページの運営 (<https://hyogo-arts.or.jp/harada>)

【内 容】施設概要、展覧会情報、利用案内、空室情報 等

② SNSの運用（フェイスブック、ツイッター、Instagram）

【内 容】即時性のある展覧会情報、イベント情報 等

③ 美術情報の提供

【内 容】1階フロアに展覧会案内ハガキ、パンフレットを見やすく配置し、来館者に情報サービスの提供を行う。またJR灘駅をはじめ近隣施設へのスケジュール掲示など、地域と連携しながら利用者増に努める。

④ 障害者アート作品の常設展示

【内 容】全国的にも珍しい、障害のある方々の芸術作品等の発表、鑑賞機会の拡大を目的とした「兵庫県障害者アートギャラリー（常設展示室）」を館内に設け、2～3カ月毎に作品を入れ替えて展示を行う。

2 横尾忠則現代美術館の管理・運営

横尾忠則氏の優れた作品等について広く県民に鑑賞する機会を提供するため、横尾作品を中心とする魅力ある展覧会を実施するとともに、『横尾芸術の一大拠点』として、横尾氏による公開制作や著名人との対談などのほか、企画に即した展覧会関連事業、オープンスタジオコンサート、パフォーマンスのほか、コロナ禍において定着した動画配信等による情報発信も含めて、多様な表現手段を用いた美術館広報を展開し、若い世代をはじめとした新たな来客層への訴求にもつながる魅力を、当館らしく発信していく。

(1) 横尾作品を中心とした展覧会の開催

展覧会名	第1期企画展	横尾忠則 原郷の森
会 期	令和5年5月27日（土）～8月27日（日）80日間 （於：2・3F展示室）	
内 容	2022年3月に出版された小説『原郷の森』（文藝春秋）でとりあげられた横尾の作品を、小説から抽出した文言とともに展示することで、言葉のみで表された世界を、イメージを加え立体的に構築することを試みる。横尾がつづる言葉と横尾が描く絵が織りなす森のような展示室に分け入り、半世紀以上の歳月をかけて形作られた横尾芸術を身体的に感じ取る機会とする。	
共 催	神戸新聞社	
関連事業	キュレーターズトーク、スペシャルライブ（新規；後述）等	

展覧会名	YOKOOTADANORI COLLECTION GALLERY 2023 Part1	
会 期	令和5年5月27日（土）～8月27日（日）80日間 （於：4F 横尾忠則コレクションギャラリー）	
内 容	横尾氏のコレクションから小説『原郷の森』に関連するものなどを展示する。	

展覧会名	第2期企画展	Yokoo in Wonderland —横尾忠則の不思議の国
会 期	令和5年9月16日（土）～12月24日（日）86日間 （於：2・3F展示室）	
内 容	横尾作品のなかの「不思議の国」に焦点をあてた展覧会。横尾の小説『ぶるうらんど』を入口として、現実の延長にある空想の世界をルイス・キャロル作「不思議の国のアリス」になぞらえて2部構成で紹介する。2階展示室では「不思議の国」と題してシュルレアリスム的な作品を、3階では「鏡の国」と題して鏡を使用した作品やミラーイメージを用いた作品を一堂に展示する。	
共 催	（調整中）	
関連事業	キュレーターズトーク等	

展覧会名	YOKOOTADANORI COLLECTION GALLERY 2023 Part2	
会 期	令和5年9月16日（土）～12月24日（日）86日間 （於：4F 横尾忠則コレクションギャラリー）	
内 容	《夢枕》シリーズ全43点を一堂に展示する。	

展覧会名	収蔵品展	横尾忠則 ^{フーイ} Yーイ!★Y字路
会 期	令和6年1月27日（土）～5月6日（月・祝）88日間 （於：2・3F展示室）	
内 容	横尾忠則のライフ・ワーク「Y字路」シリーズを紹介する展覧会。2015年に当館で開催した2006～2015年の作品による「横尾忠則 続・Y字路」を補完するもので、シリーズの原点である初期作品（2000～2005年）、および新近作（2016年～）により、多彩な「Y字路」シリーズの魅力に迫る。なお本展は、本来は2020年度に開催予定だったが、コロナ禍により延期されていたものである。	

展覧会名	YOKOOTADANORI COLLECTION GALLERY 2023 Part3	
会 期	令和6年1月27日（土）～5月6日（月・祝）88日間 （於：4F横尾忠則コレクションギャラリー）	
内 容	（調整中）	

（2）貴重なアーカイブ資料の整理・公開・展示

アーカイブでは、横尾氏のもとに保管されていたイラストやポスター、デザイン原稿はじめ、蔵書・関連記事の掲載誌、レコード収集品など多岐にわたる資料を受け入れ、順次、整理・公開していく。

資料整理をより円滑に行うため、博学連携として甲南大学、甲南女子大学、神戸芸術工科大学の博物館実習生を受け入れている。

① 整理

整理済み資料に関する情報は、横尾忠則現代美術館 HP にて「整理済みアーカイブ資料リスト」として一覧を公開。

※ 登録済の資料：3,775点(令和4年1月末)

② 公開

整理済み資料については閲覧に供する。（無料、要予約、個人への貸出不可）

③ 展示

企画展等での展示に供している。

（3）作品・資料等の保存・修復活動（拡充）

収蔵作品及び資料の劣化要因（温湿度、光、空気汚染物質、有害生物など）を制御、排除することで、館内環境を良好に保つよう努める。保存・修復に際しては、作品の現状維持修復を原則とし、オリジナルの価値を損なわないように配慮しながら、展示・他館貸し出し等に応じ、修復措置を行っている。（4年度：248件実施）

また、横尾氏と親交のあった故瀬戸内寂聴氏のコレクション（近現代美術等45件）を新たに収集した。

（4）ひょうごプレミアム芸術デーの実施

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県立芸術文化施設の無料開放等を行う県民プレミアム芸術デーを実施する。

① 無料開放 7月11日～17日(7日間)

② ユニバーサルデー(仮称) 障がい者や子育て世帯の来館促進のために実施

③ スペシャルライブ（「横尾忠則 原郷の森」関連事業として実施）ほか

（５）オープンスタジオ等を活用した多彩なイベントの実施

① 企画展関連事業

企画展ごとに横尾氏と密接な関係のある著名人とのトークショーやライブ、キュレーターズトーク、ワークショップ、講演会等を開催する。

② オープンスタジオコンサート

協会本部のアーティストサロン等の協力を得て、県内を中心に活動する優れた音楽家等によるコンサートやアーティストによるパフォーマンスを実施し、美術館のにぎわいづくりと新たなファン層の拡大をめざす。

③ ユーチューブでの動画配信事業等

公式ユーチューブチャンネル（令和２年８月開設）において、ギャラリートーク（字幕：日・英）のほか、展示室の横尾作品をバックにしたパフォーマンスなど、館の魅力を発信する映像の制作・配信等を行っていく。

（６）連携によるにぎわいづくり

① 地域との連携

（ア）地域住民・商店街等との連携

ポスター・チラシ配布、地域イベント（灘区総合芸術祭、六甲ファミリーまつり、美かえるカラフルマルシェ）でのPRや、水道筋商店街・王子動物園（令和２年度に連携協定を締結）等とタイアップしたイベント等の実施。

（イ）周辺施設との連携（神戸文学館、灘区民ホール、王子動物園、BBプラザ美術館等）

- ・ 相互のポスター・チラシの掲示・設置、開会式への招待等を実施
- ・ 六甲ファミリーまつりや灘区総合芸術祭等への参画

② 学校との連携

- ・ 芸術系大学を中心に団体受け入れ、学芸員の案内を実施
- ・ 関西学院大学、神戸松陰女子学院大学、兵庫教育大学との提携
- ・ 学芸員によるアウトリーチ活動（出前講座、オンライン授業等）

③ 他館との連携

（ア）神戸市内美術館で構成する「KOBE MUSEUM LINK」との連携

共同ホームページの作成、デジタルスタンプラリーによる広報等

（イ）ミュージアムロードを構成する主要文化施設との連携

県立美術館本館、原田の森ギャラリーはもとより、近接する神戸文学館や神戸市立王子動物園、ミュージアムロードの中間点に位置するBBプラザ美術館等と連携し、ポスター掲示、チラシの設置、県立美術館とは半券提示で割引制度を相互に協力している。

（ウ）国内外の美術館等

豊島横尾館、西脇市岡之山美術館、東京国立博物館、東京都現代美術館ほか、国内外美術館等との広報連携を推進していく。

（７）情報の提供・広報

マス・メディアや交通広告はじめ、インターネットの活用など様々な媒体を通じて広く広報を実施。また横尾氏の国内外での知名度・評価も高いことから、全国誌への掲載働きかけや、ホームページの多言語化や展覧会図録の英語併記など、国際広報にも努める。

① 県庁記者クラブでの資料配布、記者説明会の開催

② テレビ・ラジオのニュース・特集番組、新聞等マス・メディアの活用

③ 芸術・旅行分野の全国紙への掲載働きかけ

④ インターネット等による当館情報発信

ホームページ（令和３年３月にリニューアル／多言語対応）、YouTube チャンネル、ツイッター、フェイスブック、メールマガジン、美術館ニュース、インスタグラム、SNSによる広告配信 等

⑤ 交通広告等による広報

阪急、山陽への広報、三宮センター街・ＪＲ三宮駅交番北側への看板掲出、ＪＡＦとの提携・割引を実施するほか、訪日外国人が多く利用する神戸シティループバスへの広告掲載を行う。

⑥ 横尾氏本人によるＰＲ

テレビ出演、雑誌対談、ツイッター（33.5万フォロワー）などのほか、横尾氏のコラボ・ブランド（GUCCI、ISSEI MIYAKE、UGG、SWATCH等）を当館広報に活用

⑦ 館長によるトップセールス（テレビ、ラジオへの出演、講演会におけるＰＲ）

⑧ キャッシュレスへの対応

Sonoligo、楽天トラベル等での館外チケット販売、クレジットカード等によるキャッシュレスチケット販売の実施

3 駐車場等の運営（収益事業）

来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行う。

（時間貸） 収容台数 31台

4 その他、施設利用者の利便向上への取り組み（収益事業）

- ・カフェスペースの貸出（横尾忠則現代美術館）
- ・関連グッズのショップ設置・運営（横尾忠則現代美術館）
- ・飲料自動販売機の設置

兵庫県民会館の管理・運営（収益事業）

令和5年度も引き続き指定管理者として、当協会が兵庫県民会館の管理運営を担うこととなっている。これまで新型コロナウイルス感染防止対策として、①会館出入口でのサーモカメラ・消毒液の設置 ②施設改修（トイレの水道蛇口・男性小便器のセンサー化等） ③会館利用者への感染防止対策の徹底及び対策物品の貸出 ④LAN・Wi-Fi 等による館内通信環境の向上によるネット会議対応 などの取り組みを徹底し、利用者の安全・安心、利便性やサービスの向上を図ってきた。

令和5年度も状況に応じた対策に万全を期す一方、コロナ禍終息後に向けて利用動向を見極めながら、会合や各種イベント、展示の誘致などに取り組み利用料収入の向上を図るとともに、電力料金等が高騰するなか、必要な県民サービスを維持するため運営経費のコスト削減や経営の合理化にも努め、県と協定した還付金（9,510万円）の確保と併せて、県民が芸術文化などに親しむ環境の充実を目指す。

【所在地】 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号

【施設】

- ・パルテホール（11階）（定員 150人）
- ・けんみんホール（9階）（客席数360席）
- ・会議室（18室）
- ・集会室（3室）
- ・宴会室（3室）
- ・団体事務室（23団体）
- ・時間貸駐車場（37台）
- ・月極車庫（44台）
- ・営業店舗（2業者）
- ・アーティストサロン
- ・兵庫県民アートギャラリー
- 1階 特別展示室（78㎡）
- 2階 大展示室（346㎡）、中展示室（176㎡）、小展示室（50㎡）

1 利用者の安全・安心、利便性やサービスの向上

新型コロナウイルス感染防止のため、毎月初日の一斉申込受付方法の事前申込方式への変更、利用料金支払でのキャッシュレス対応、クレジットカードや電子マネーにも対応した多機能決済端末の導入等を進めてきた。これらは、利用者の安全・安心はもとより利便性やサービス向上にも資するため、引き続き推進していく。

また、館内のLANやWi-Fi設備、通信回線容量の強化を図っており、コロナ禍を機に需要が増加しているオンライン会議の取り込みにも努める。

2 ギャラリー・ホール等の利用促進及び情報発信の強化

一昨年にリニューアルした県民アートギャラリーについて、パソコンやスマートフォンで展示品を鑑賞できるバーチャルギャラリー“Walk 360”の利用団体への紹介などを通じたPRや、特別展示室の空き期間を活用した作品展示などによる賑わいづくり、利用の少ない時期に重点を置いた利用促進策の検討などにより、コロナ禍のもとで低調に推移してきた利用率の向上をめざす。

また、県民会館のホームページやSNSも活用し、ホール、会議室、ギャラリー等の空室情報、催物などの情報を提供する一方、ロビー設置のモニターや情報コーナーでの閲覧等により、多彩な文化情報を提供する。

3 施設・設備の老朽箇所等の長寿命化等

老朽化した建物、設備を長持ちさせるための修繕工事や定期点検・メンテナンスを適時・適切に実施するとともに、喫茶コーナーや地下1階イートインコーナーの利用促進を図り、会館の快適性や利便性の維持・向上に努める。

4 ギャラリー運営会議の開催

広く公平・適正な利用を推進するとともに、効率的・計画的なギャラリー運営の円滑化を図るため、絵画、美術・工芸、書等の専門家で構成されるギャラリー運営会議において、貸出計画案の承認を得る。

5 駐車場等の運営

来館者の利便性に配慮した有料駐車場の運営を行う。

（時間貸） 収容台数 37台

（月極） 収容台数 44台

6 その他、施設利用者の利便向上への取り組み

- ・喫茶等スペースの貸出
- ・飲料自動販売機の設置
- ・図書頒布販売、他主催入場券等の受託販売